

第6回川崎市地域福祉実態調査（令和4年度調査）
結果概要

多摩区版

目次

調査の概要	- 1 -
■ 調査の目的	- 1 -
■ 調査の設計	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって	- 1 -
1. 回答者の基本属性	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について	- 9 -
3. 居住地域について	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について	- 23 -
5. 保健・福祉に関することについて	- 28 -
6. 防災に対する意識と備えについて	- 31 -
7. 今後の地域福祉の推進について	- 36 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます	- 41 -
資料 <u> </u> アンケート調査票	- 63 -

調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

■ 調査の設計

【調査対象者】

市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市7,000人

【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

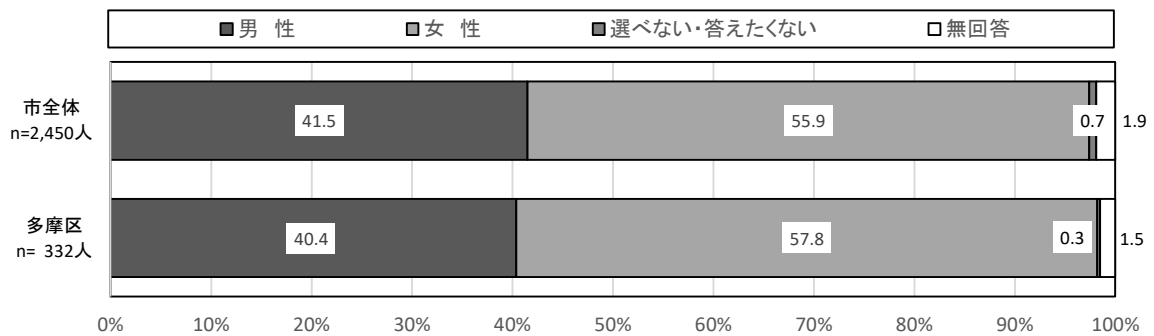
【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%

1. 回答者の基本属性

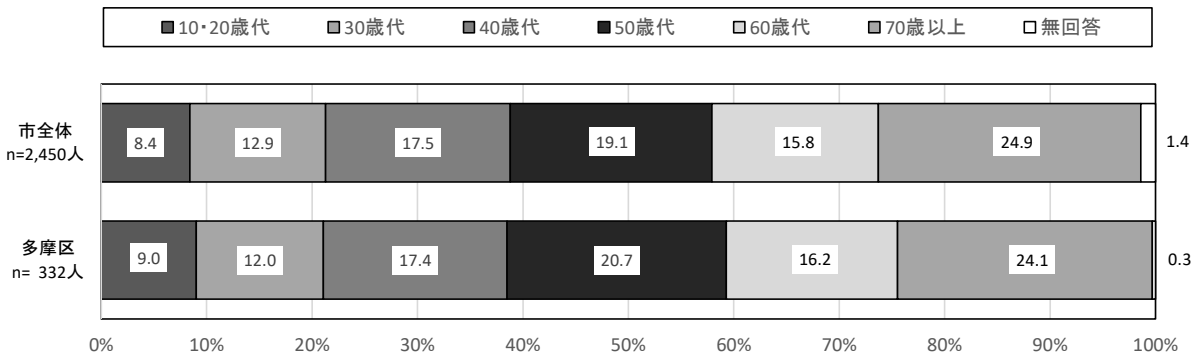
問1 性別を教えてください。(〇は1つだけ)

多摩区では、男性が40.4%、女性が57.8%となっている。



問2 現在の年齢は満何歳ですか。(〇は1つだけ)

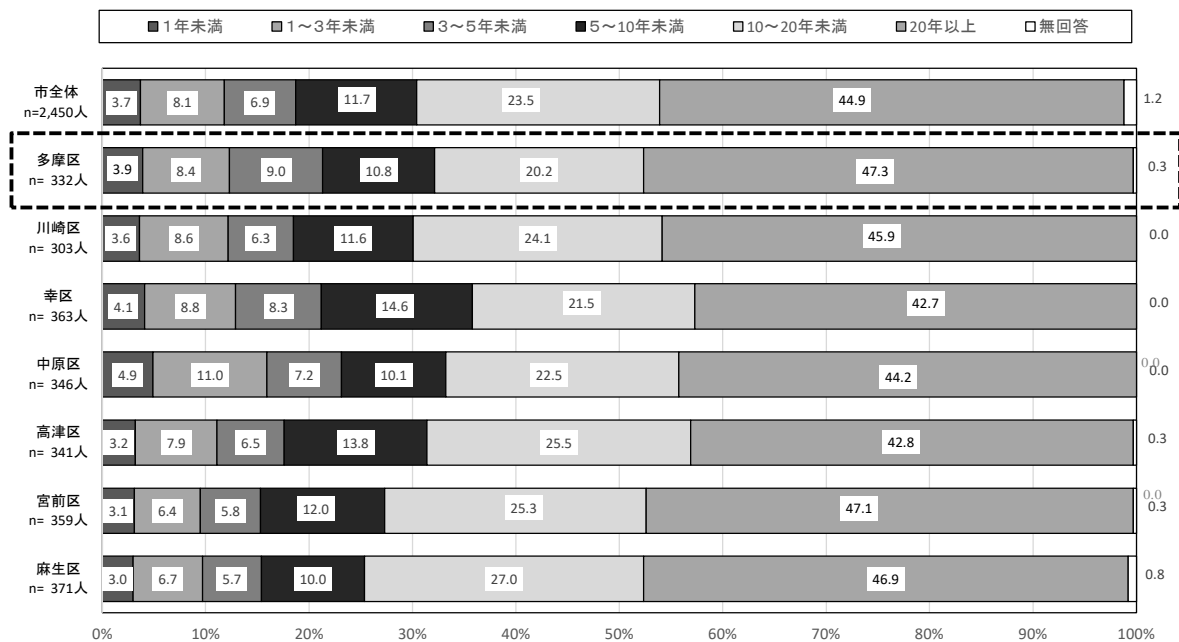
多摩区では、70歳以上が24.1%で最も高く、次いで50歳代(20.7%)、40歳代(17.4%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

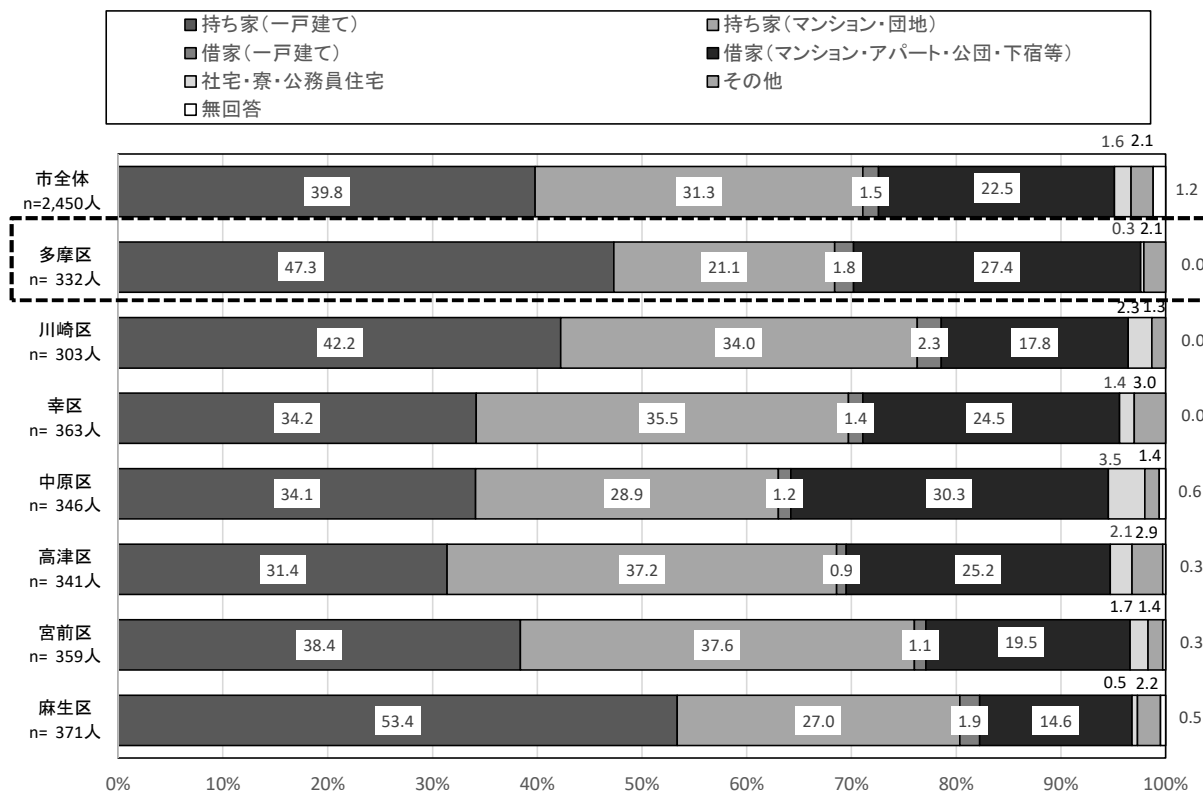
問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(〇は1つだけ)

多摩区では、20年以上が47.3%で最も高く、次いで10~20年未満(20.2%)、5~10年未満(10.8%)となっている。20年以上の割合は、市内で最も高い。



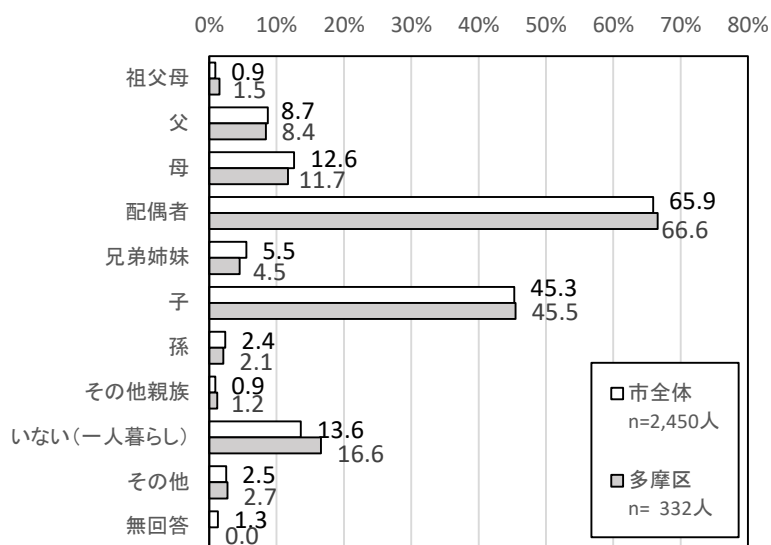
問6 現在お住まいの形態を教えてください。(○は1つだけ)

多摩区では、持ち家（一戸建て）の割合が47.3%で、市全体（39.8%）を7.5ポイント上回っている。市内6区と比較すると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション・団地）を合わせた持ち家の割合が68.4%で2番目に低く、特に持ち家（マンション・団地）は、2番目に割合の低い麻生区（27.0%）を5.9ポイント下回っている。

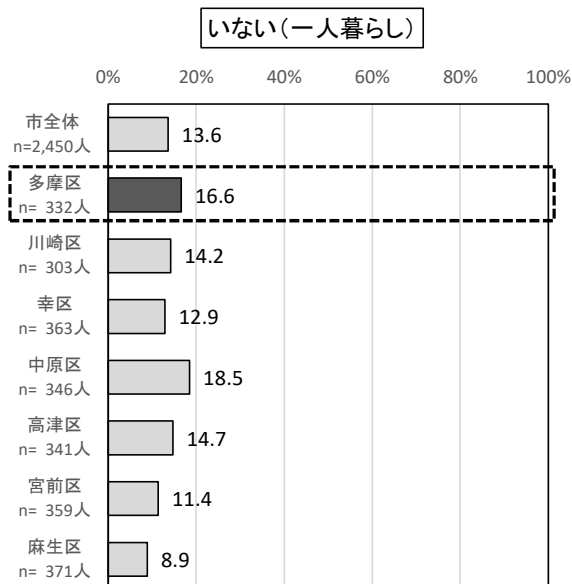
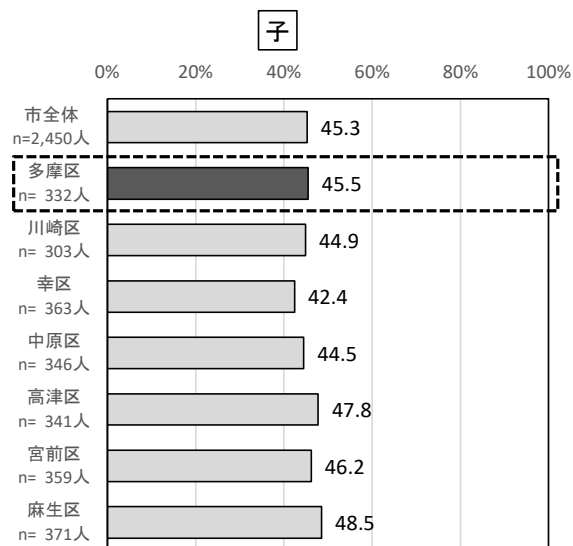
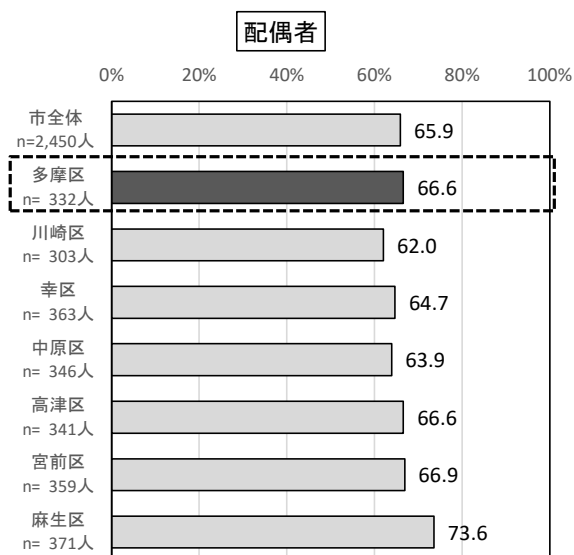


問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では、「いない(一人暮らし)」は16.6%で、市全体(13.6%)の割合よりも高く、市内で2番目に高い割合となっている。

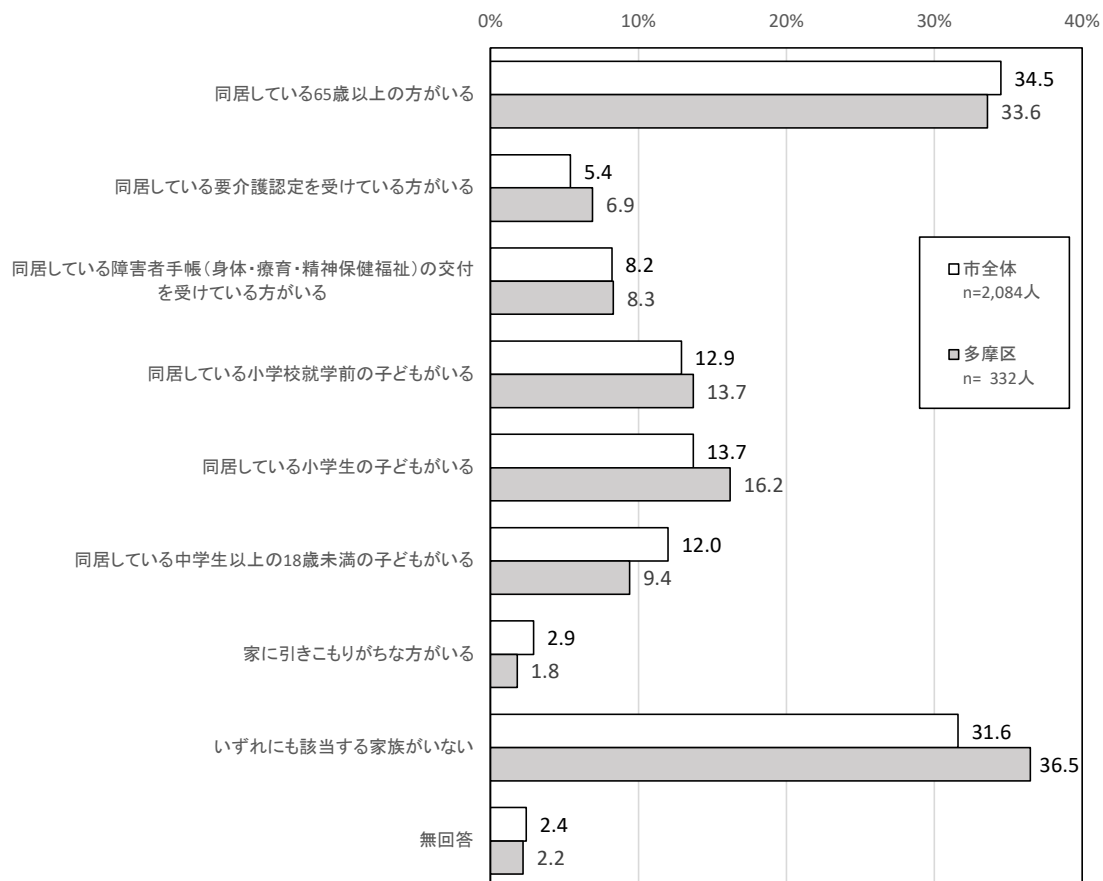


【参考】

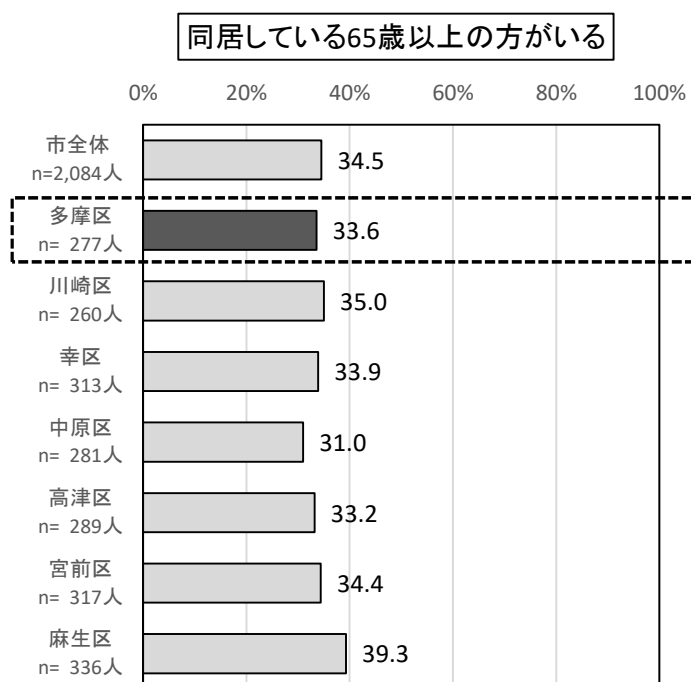


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「いずれにも該当する家族がない」が36.5%で市全体（31.6%）を上回っている。市内6区と比較すると、「同居している65歳以上の方がいる」割合は33.6%で3番目に低くなっている。



【参考】

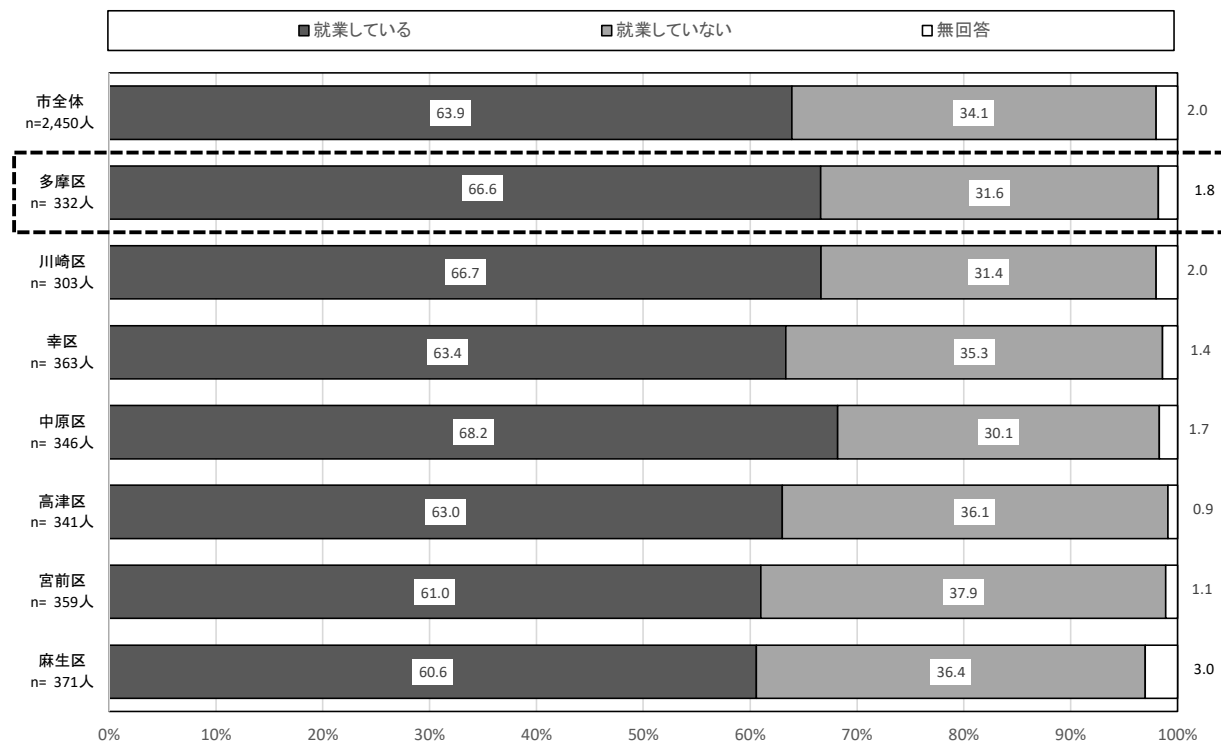


問9 就業の状況はどれに該当しますか。(○は1つだけ)

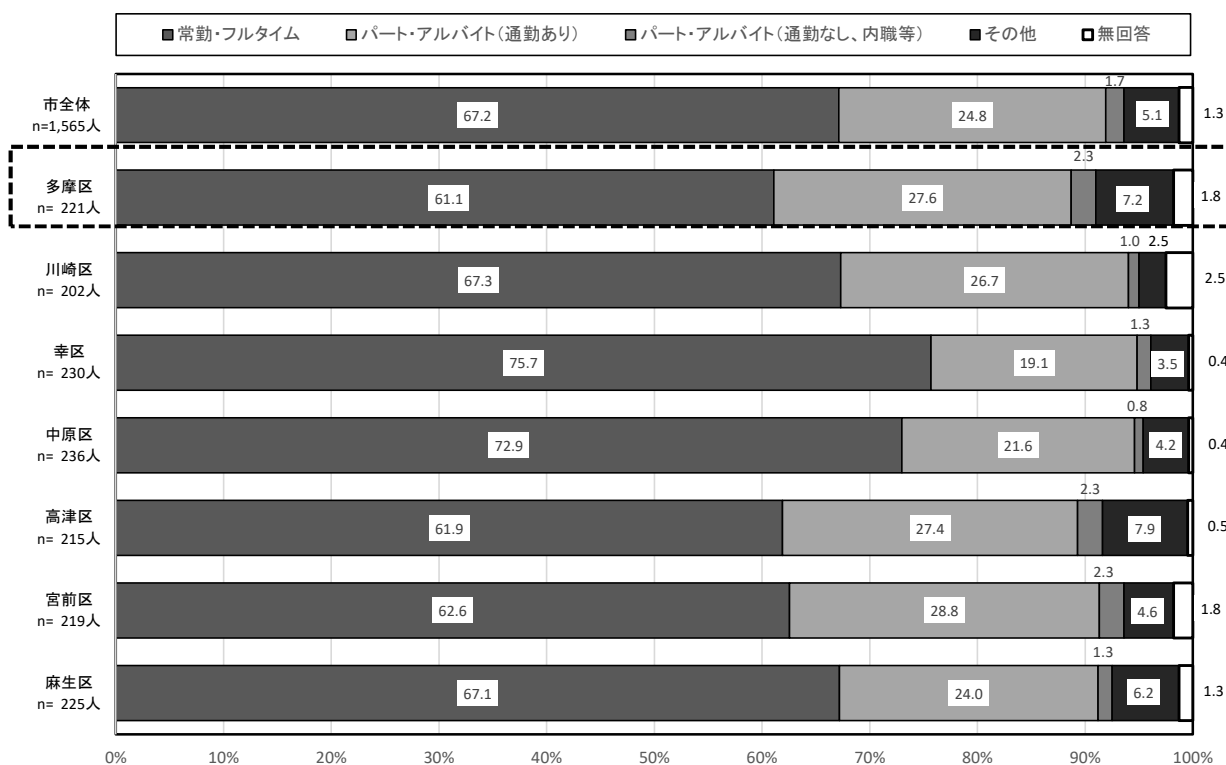
多摩区では、就業している割合が66.6%で市全体(63.9%)を上回っている。市内6区と比較すると、就業している割合は2番目に高くなっている。

就業形態については、常勤・フルタイムが61.1%で市全体(67.2%)を下回っている。市内6区と比較すると、常勤・フルタイムの割合が最も低くなっている。

ア：就業状況

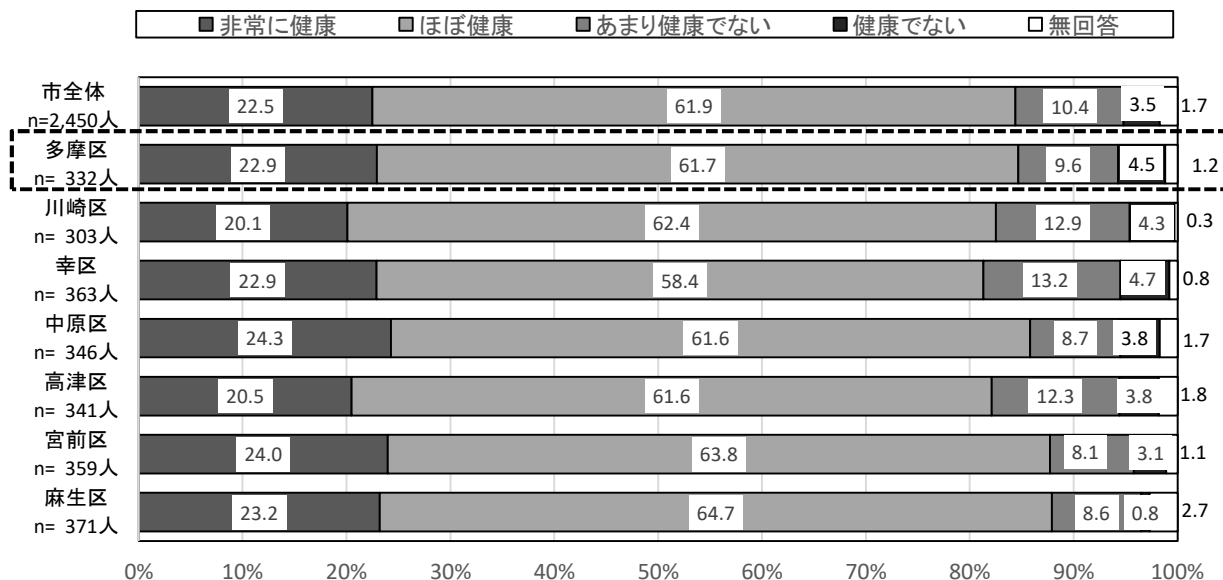


イ：就業形態



問10 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

多摩区では、「非常に健康」「ほぼ健康」を合わせた割合が84.6%で市全体(84.4%)とほぼ同じとなっている。市内6区と比較すると、「健康でない」の割合が4.5%で、幸区(4.7%)に次いで2番目に高くなっている。

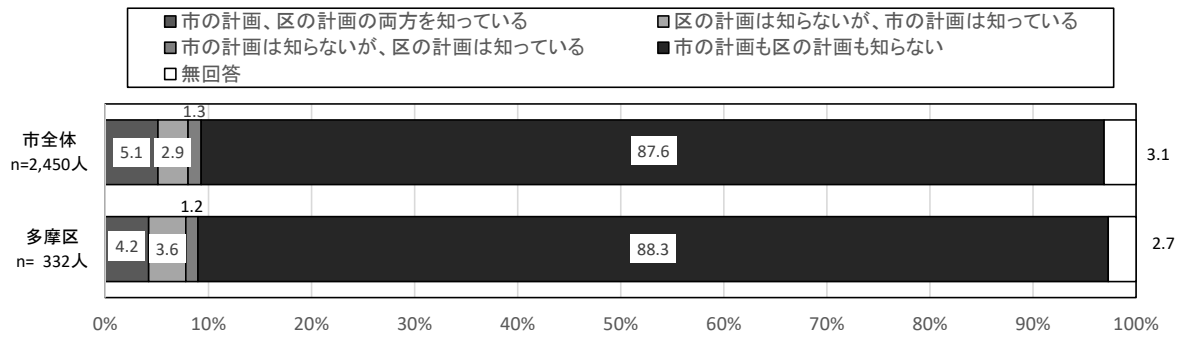


2. 『川崎市地域福祉計画』について

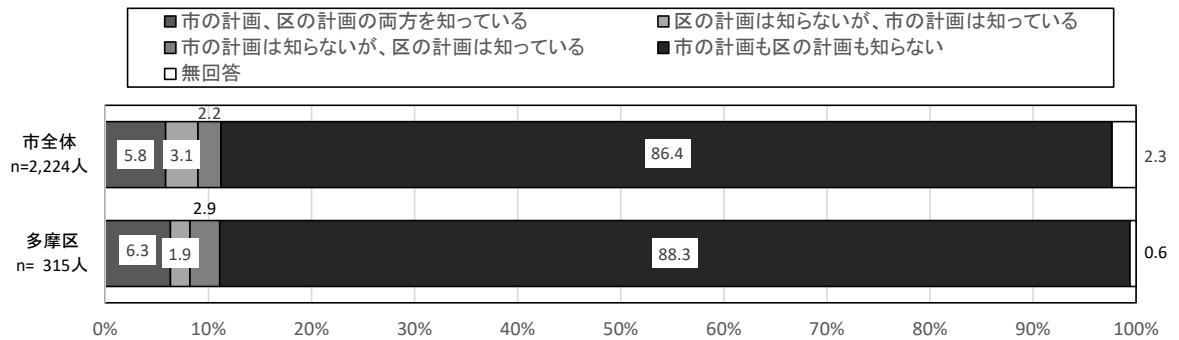
問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

多摩区では、「市の計画も区の計画も知らない」割合が88.3%となっている。

第5回調査と比較すると、「市の計画、区の計画の両方を知っている」割合が2.1ポイント減少している。



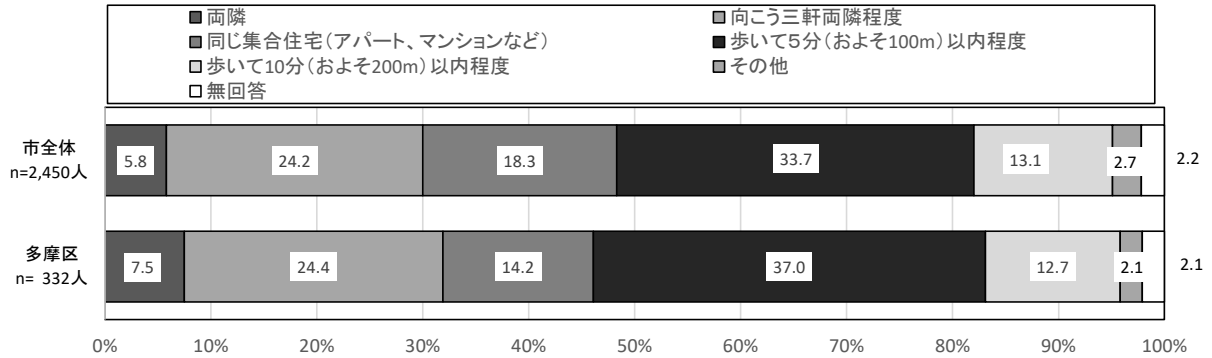
【参考】第5回調査結果



3. 居住地域について

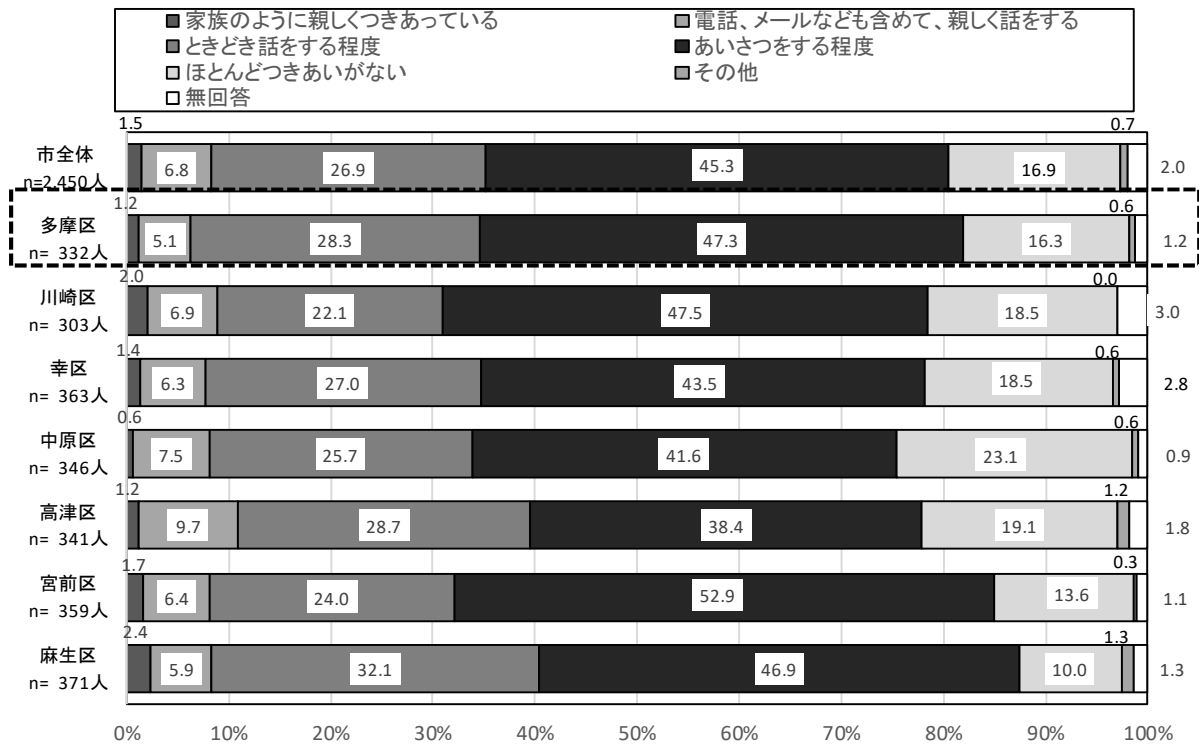
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

多摩区では、「歩いて5分(およそ100m)以内程度」の割合が37.0%で市全体(33.7%)を上回っている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

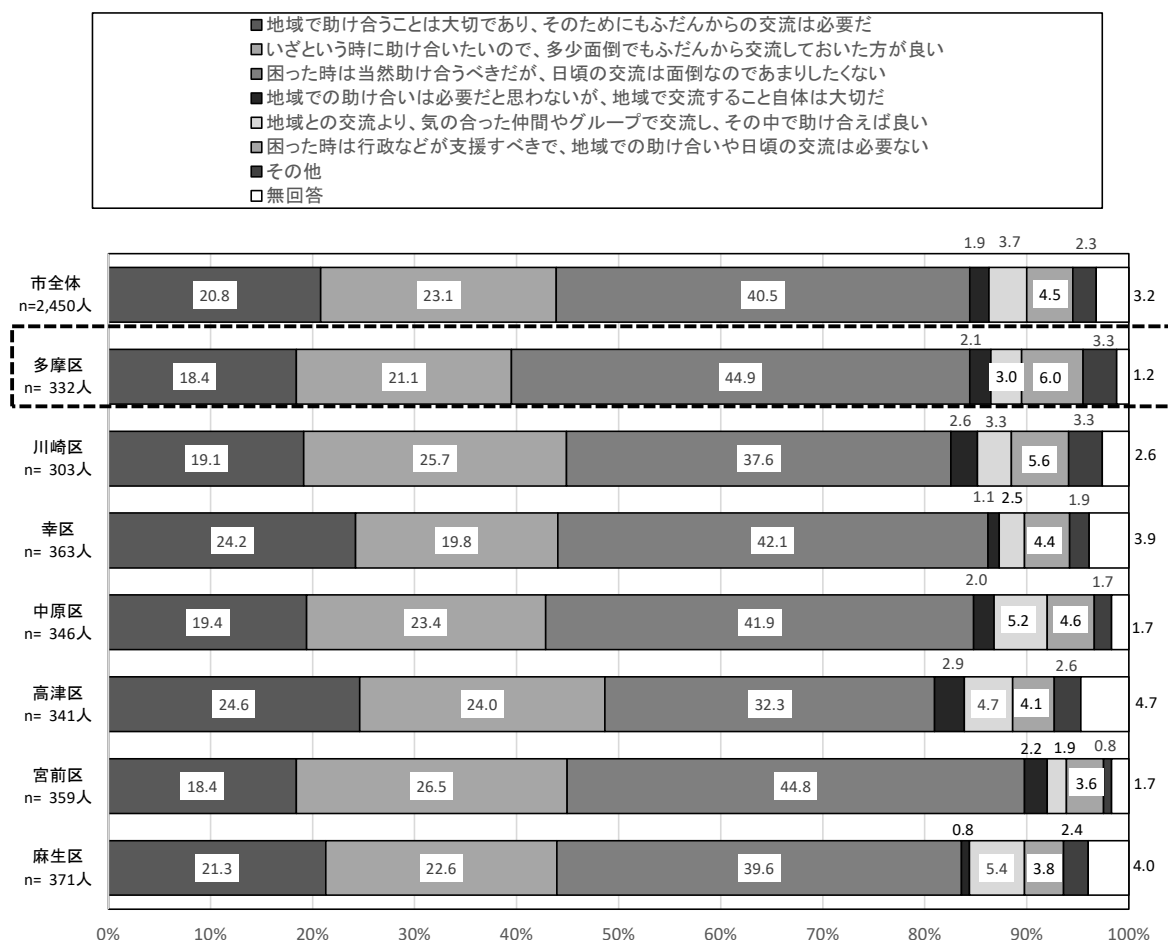
多摩区では、「あいさつをする程度」の割合が47.3%で市全体(45.3%)を上回っている。市内6区と比較すると、「ほとんどつきあいが無い」の割合は16.3%で3番目に低くなっている。



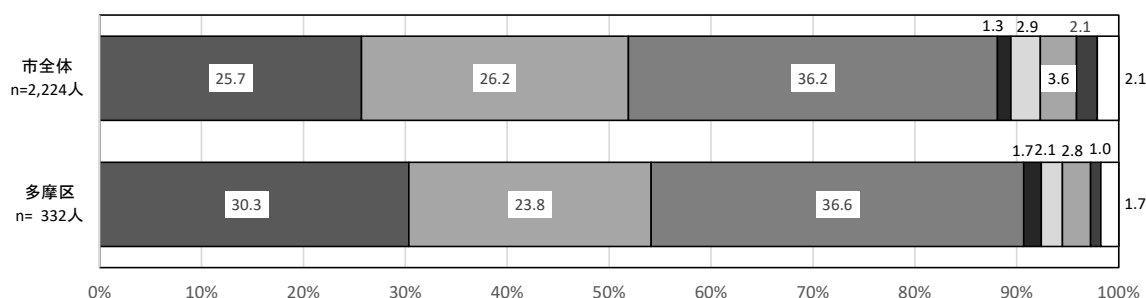
問 15 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。
(○は1つだけ)

多摩区では、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」を合わせた割合が39.5%で市全体(43.9%)を4.4ポイント下回っている。市内6区と比較すると、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合は最も高くなっている。

第5回調査と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」を合わせた割合が14.6ポイント減少している。また、「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が8.3ポイント増加している。

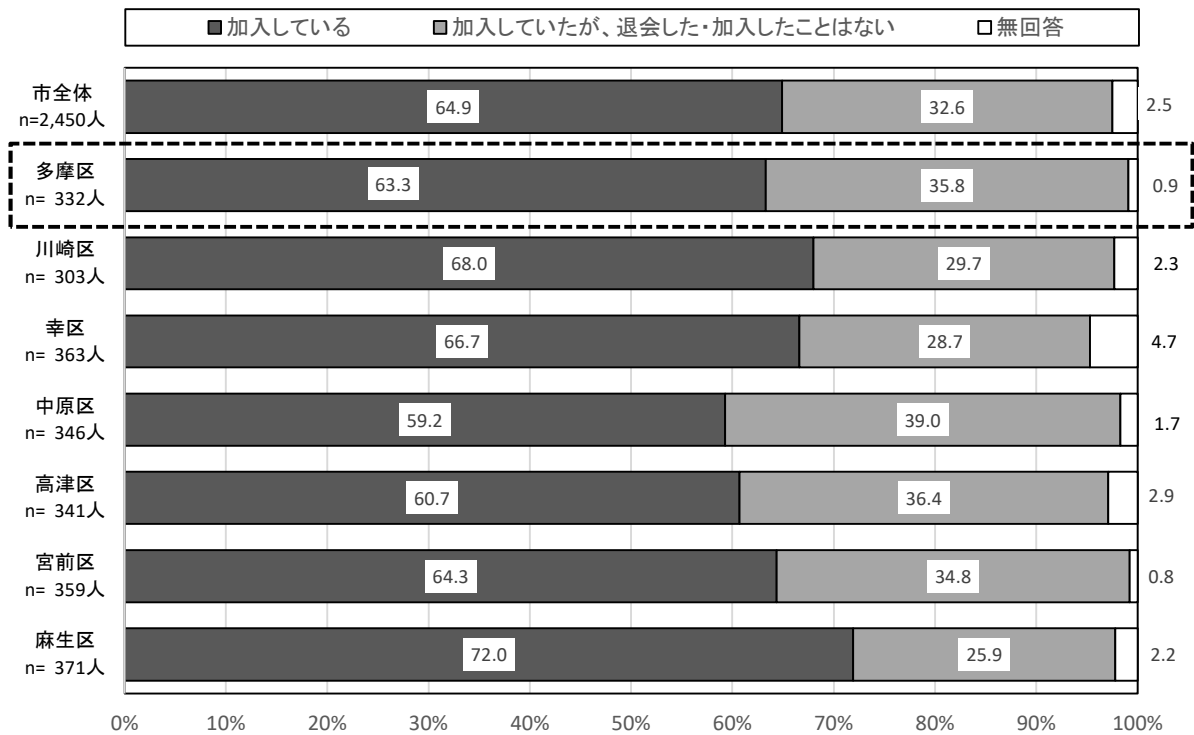


【参考】第5回調査結果



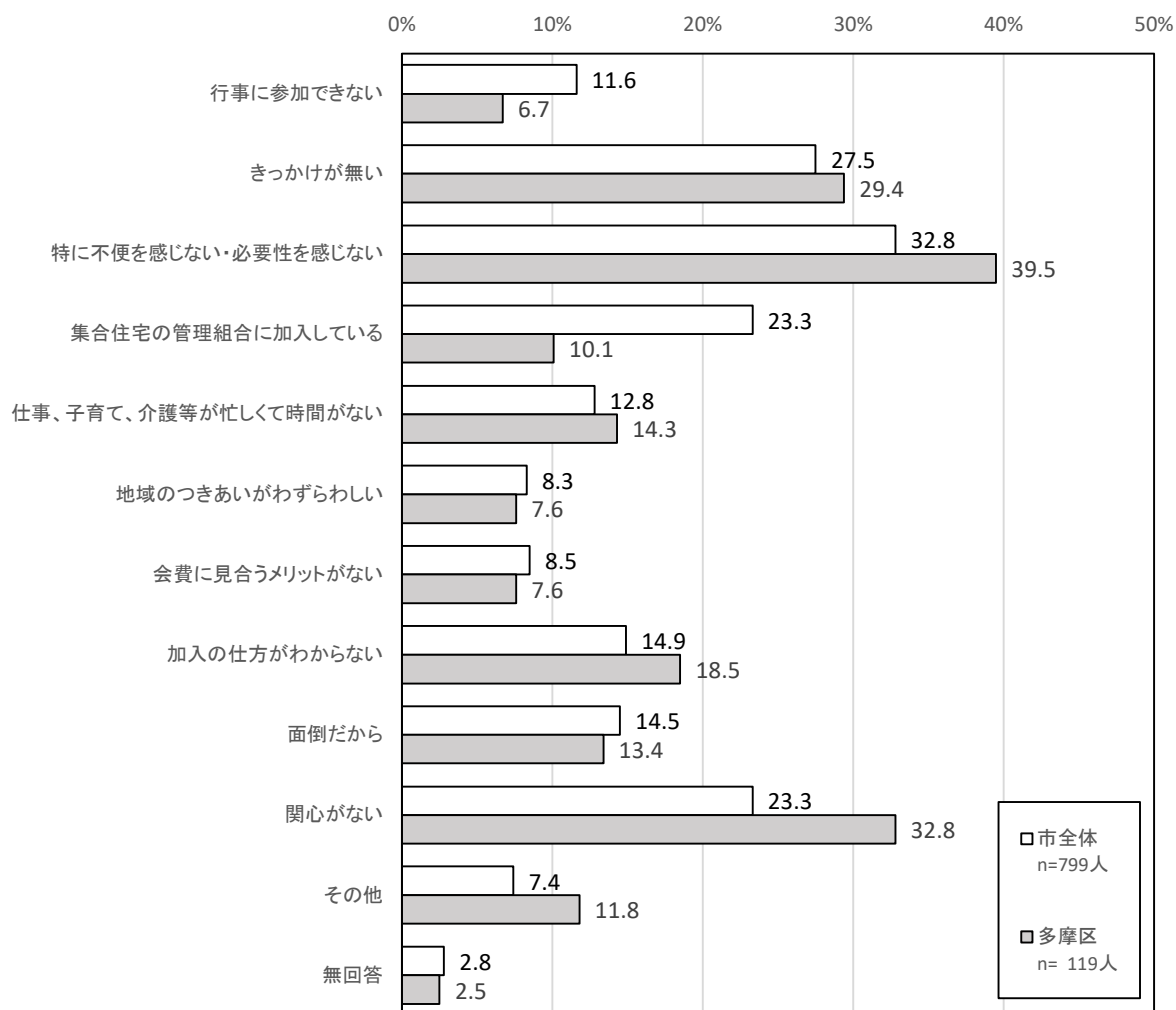
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

多摩区では、「加入している」割合が63.3%で市全体(64.9%)を下回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は3番目に低くなっている。



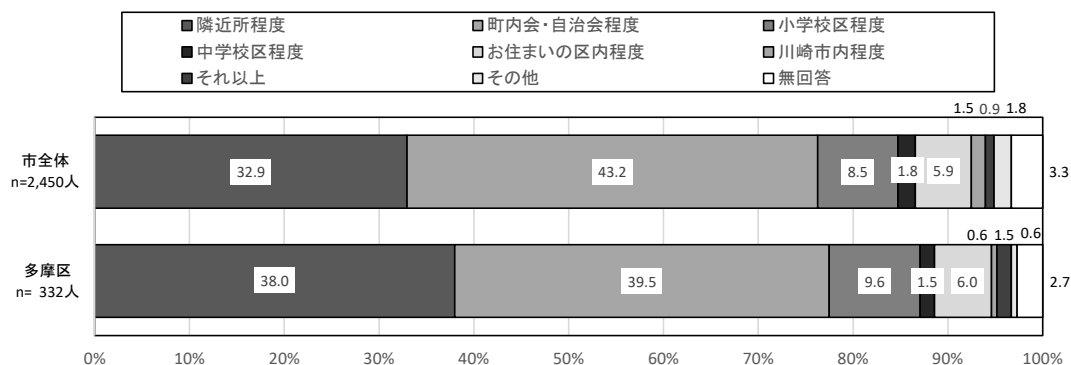
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「特に不便を感じない・必要性を感じない」の割合が 39.5%で市全体（32.8%）を上回っている。



問 17 あなたは、助けあいをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

多摩区では、「隣近所程度」の割合が 38.0%で市全体（32.9%）を上回っている。

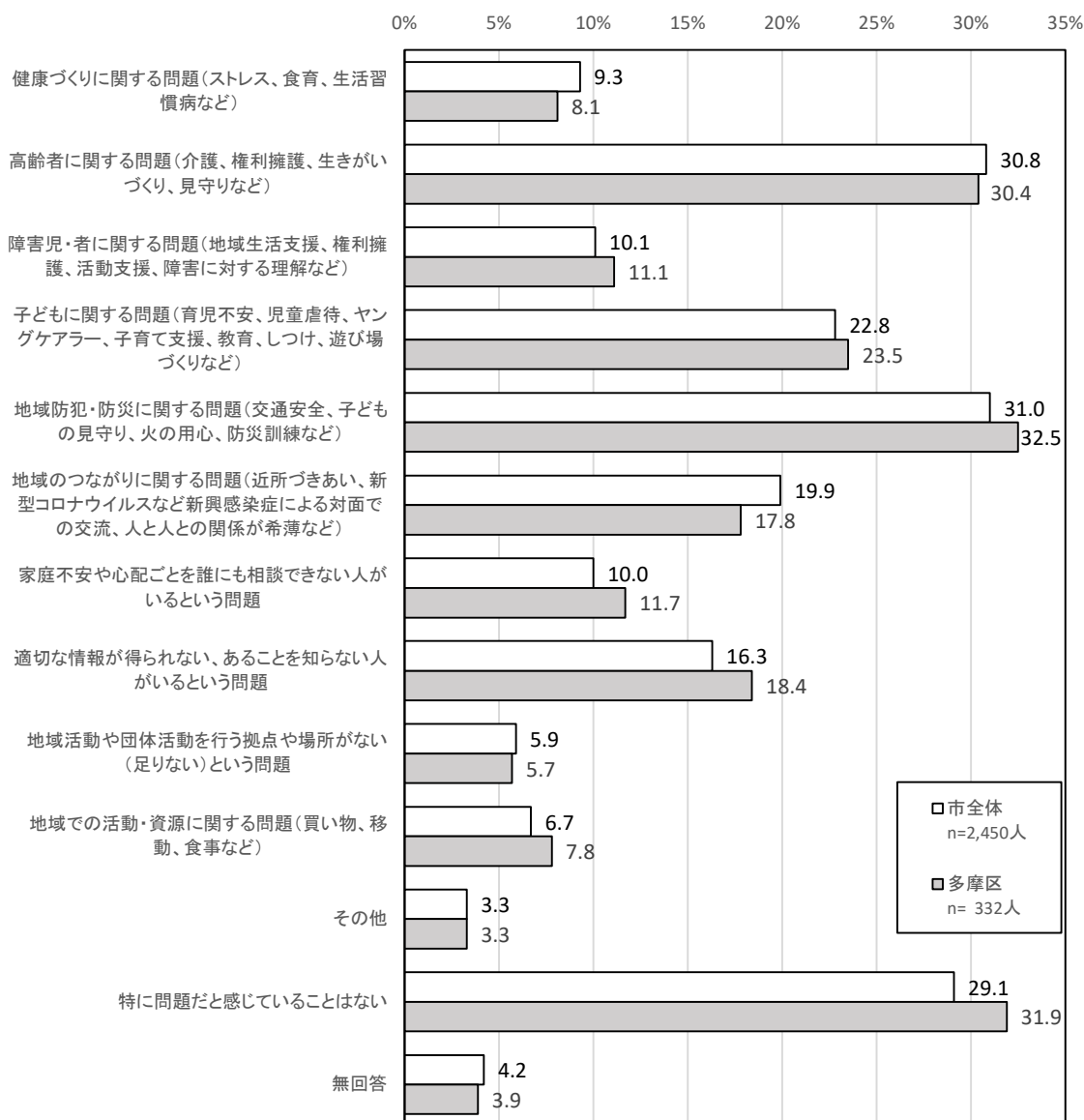


問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

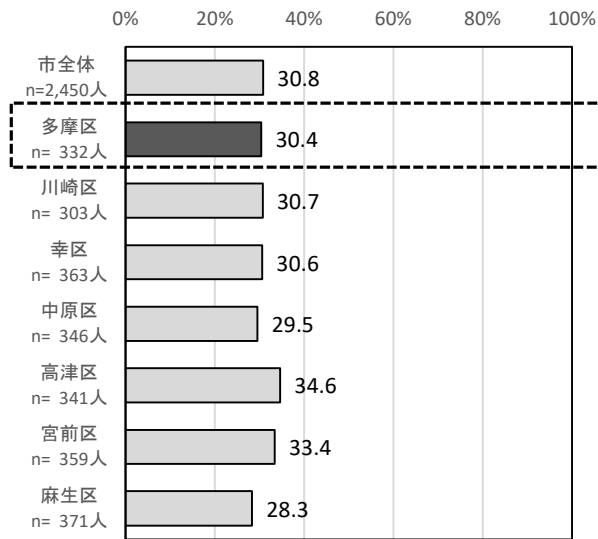
多摩区では、「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」の割合が 32.5%で最も高く、次いで「特に問題だと感じていることはない」（31.9%）、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」（30.4%）となっている。

市内6区と比較すると、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題」（18.4%）が2番目に高くなっている。一方、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」（30.4%）が3番目に低くなっている。

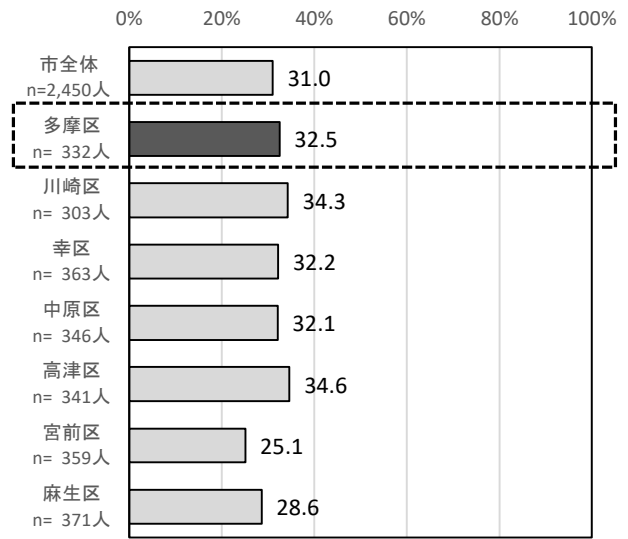


【参考】

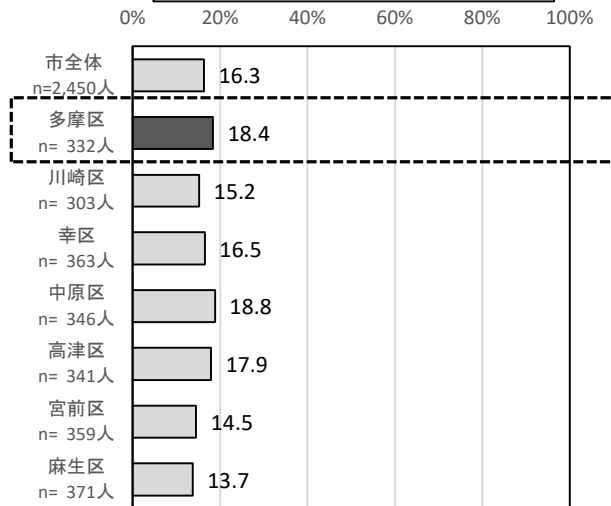
高齢者に関する問題



地域防犯・防災に関する問題

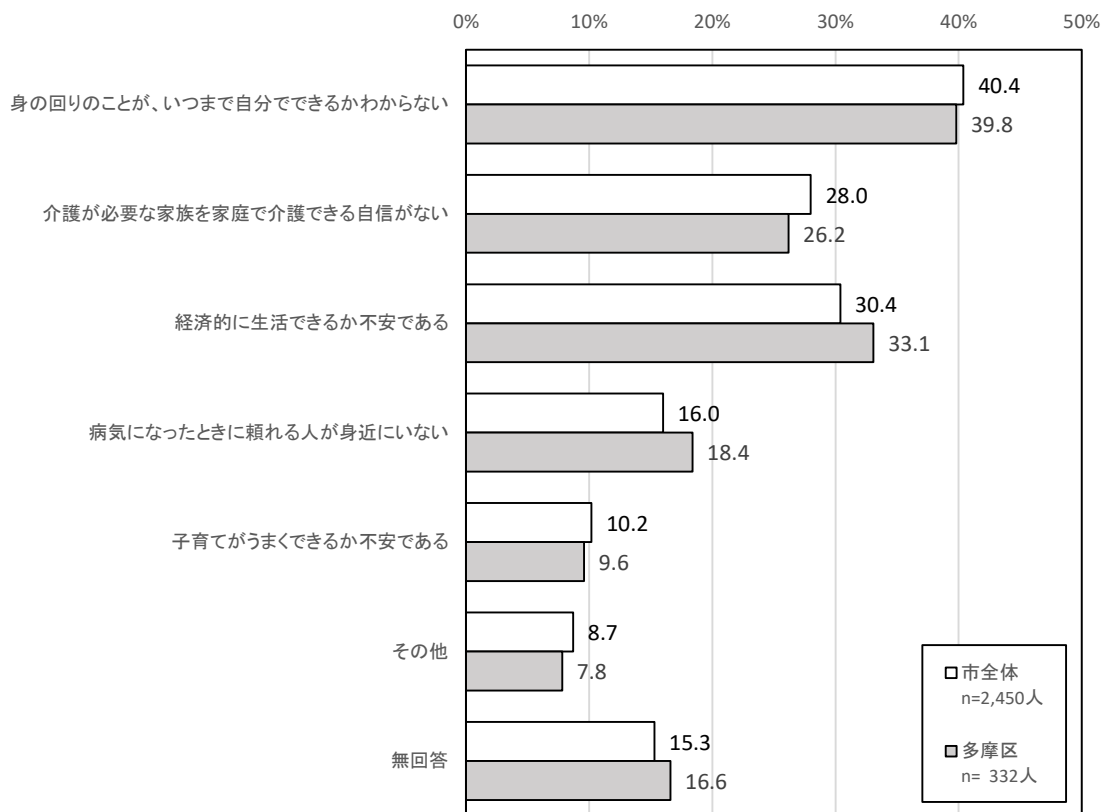


適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題



問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

多摩区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が 39.8%で最も高く、次いで「経済的に生活できるか不安である」(33.1%)、「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」(26.2%)となっている。

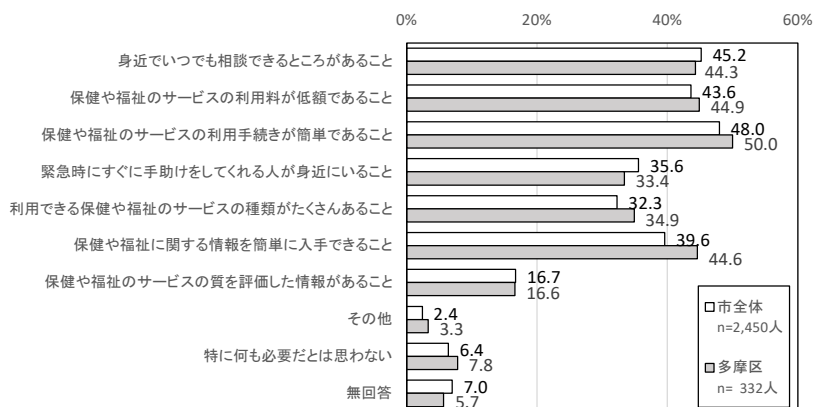


問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

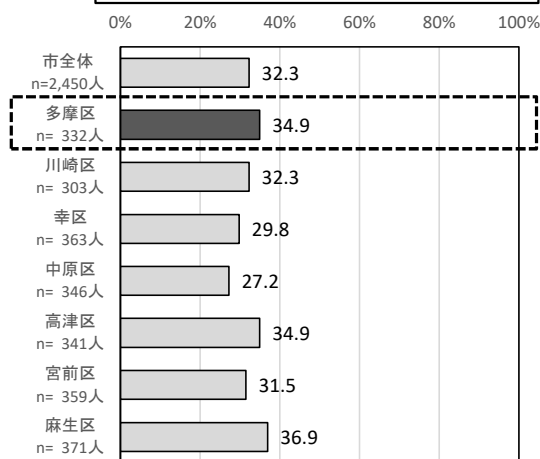
多摩区は、「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」が44.6%で、市全体(39.6%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」が最も高く、「利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること」は34.9%と2番目に高くなっている。また、「緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること」は33.4%と2番目に低くなっている。

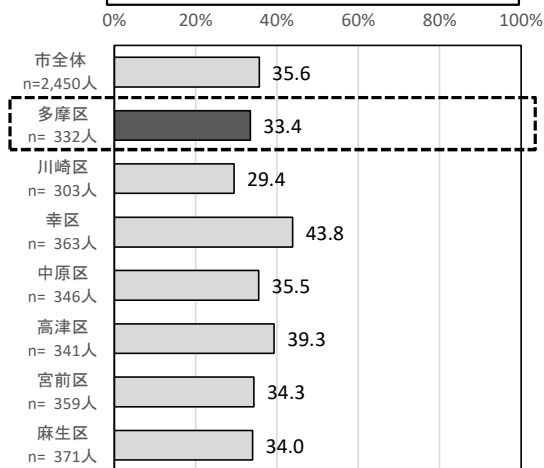


【参考】

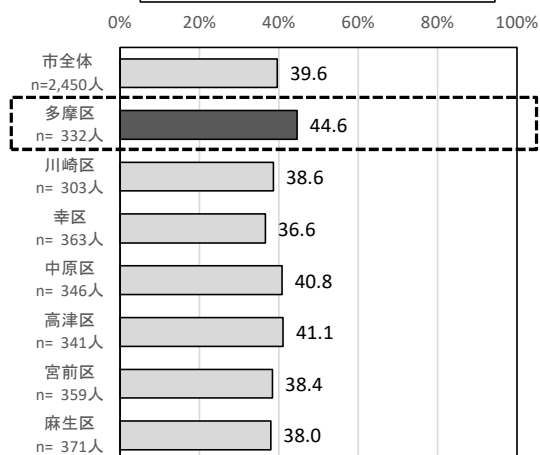
利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること



緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること



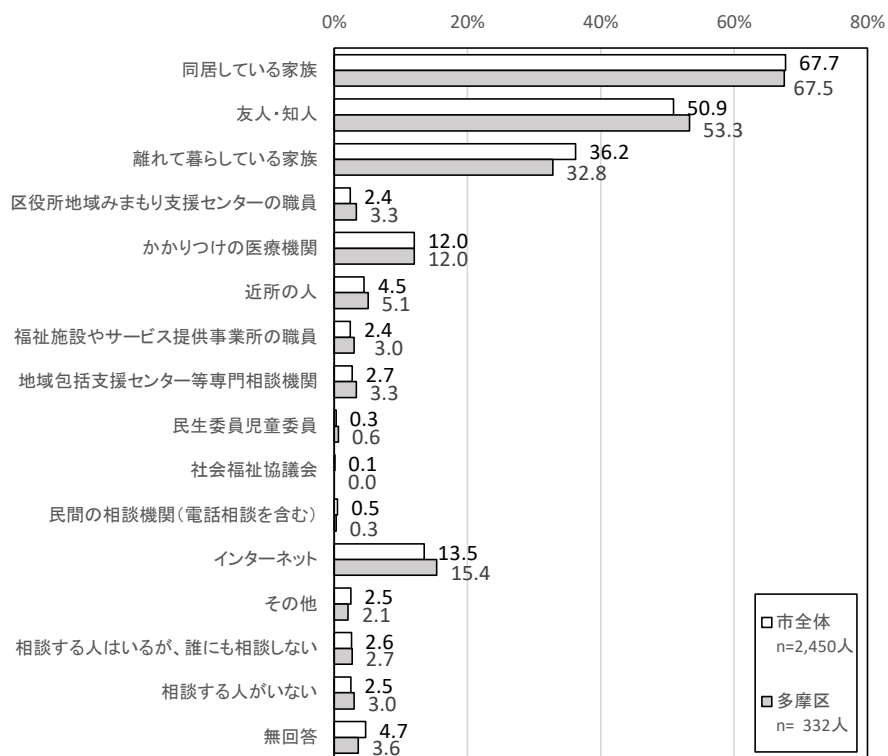
保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること



問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

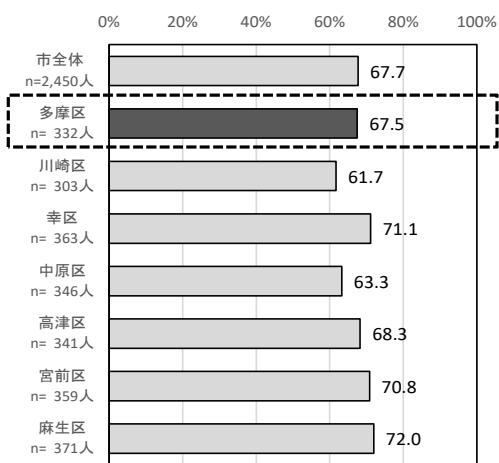
多摩区では、「友人・知人」が 53.3%で市全体 (50.9%) より高くなっている。

市内 6 区と比較すると、「離れて暮らしている家族」が 32.8%で最も低く、「同居している家族」が 67.5%で 3 番目に低くなっている

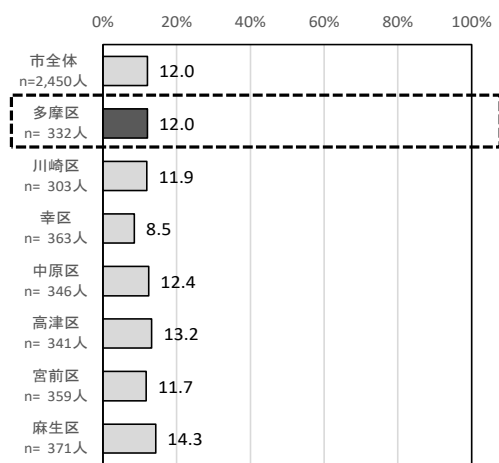


【参考】

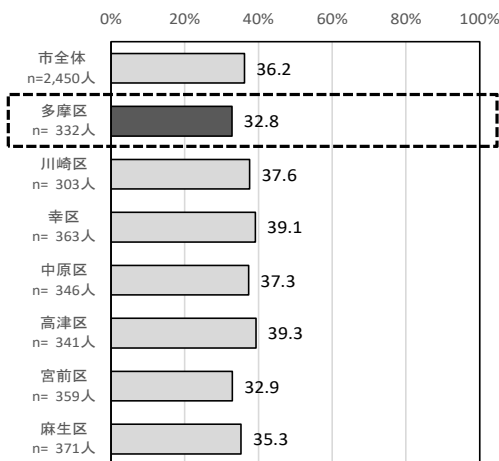
同居している家族



かかりつけの医療機関



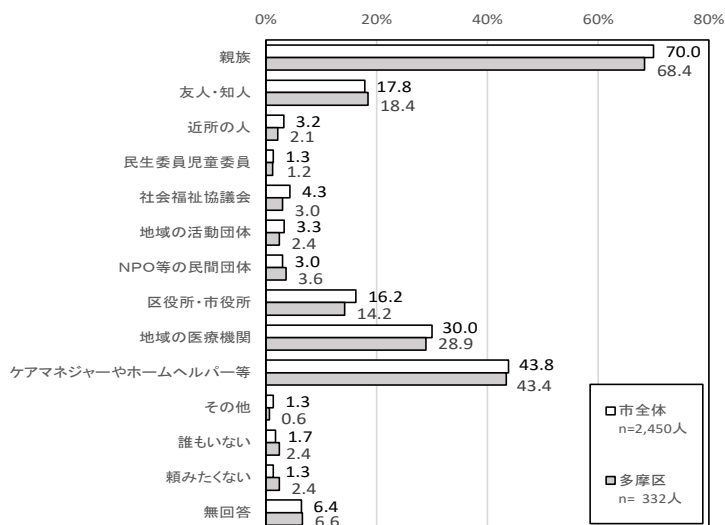
離れて暮らしている家族



問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（〇は3つまで）

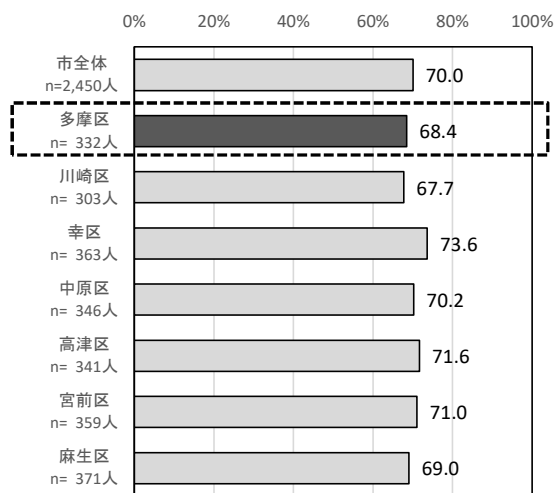
多摩区では、「親族」が68.4%で市全体（70.0%）を下回っている。

市内6区と比較すると、「地域の医療機関」は28.9%と最も低く、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」は43.4%と2番目に低くなっている。

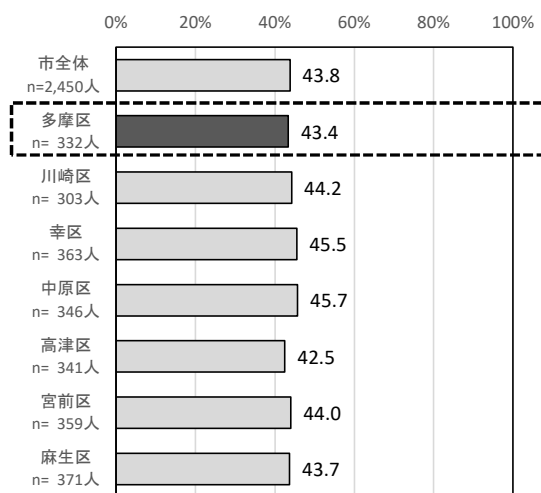


【参考】

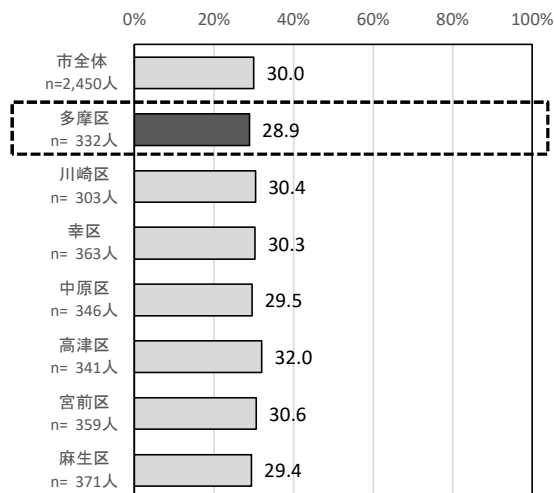
親 族



ケアマネジャーやホームヘルパー等



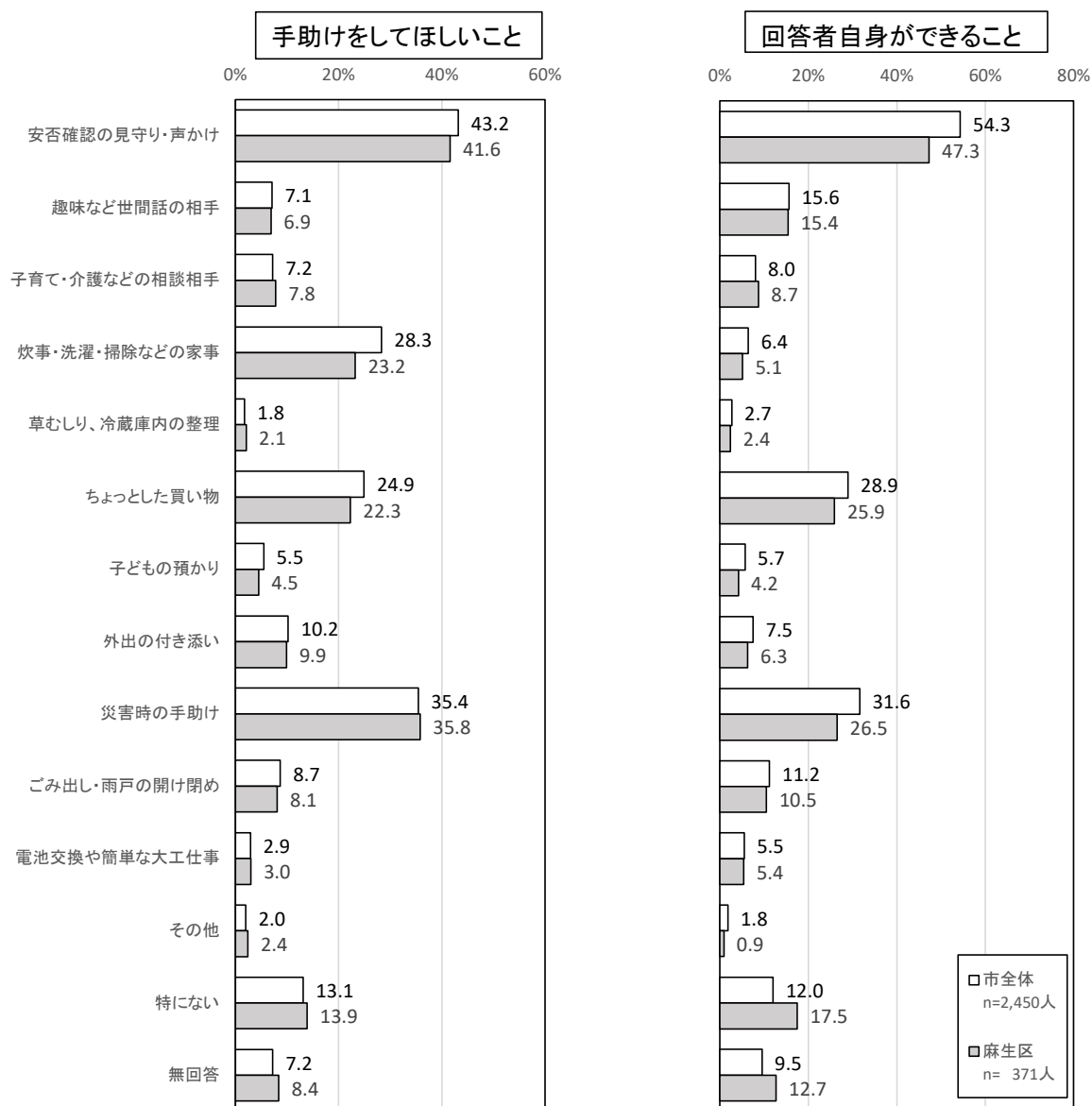
地域の医療機関



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

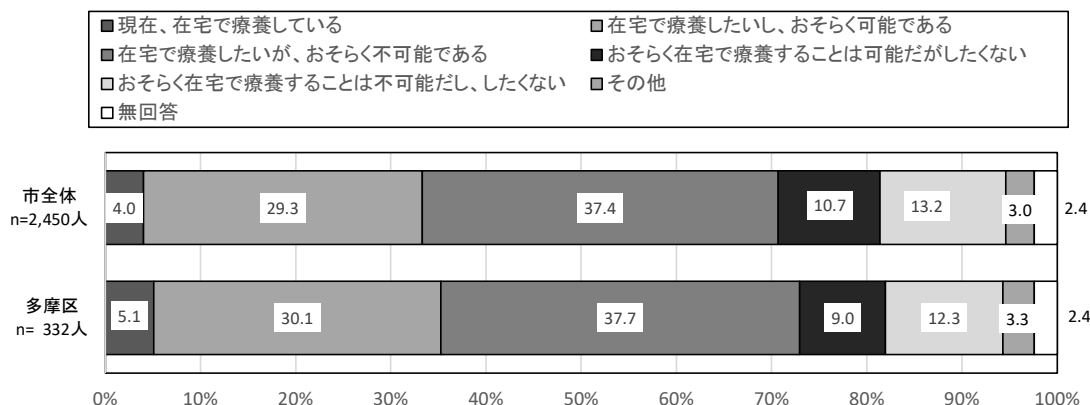
問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

多摩区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が41.6%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(35.8%)、「炊事・洗濯・掃除などの家事」(23.2%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が47.3%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(26.5%)、「ちょっとした買物」(25.9%)となっている。



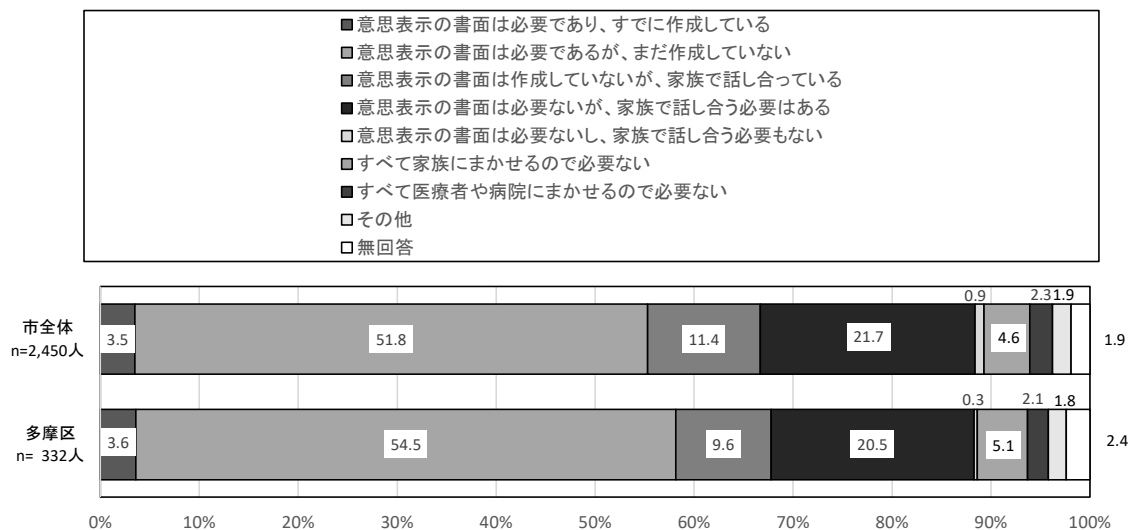
問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

多摩区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が37.7%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」（30.1%）、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」（12.3%）となっている。



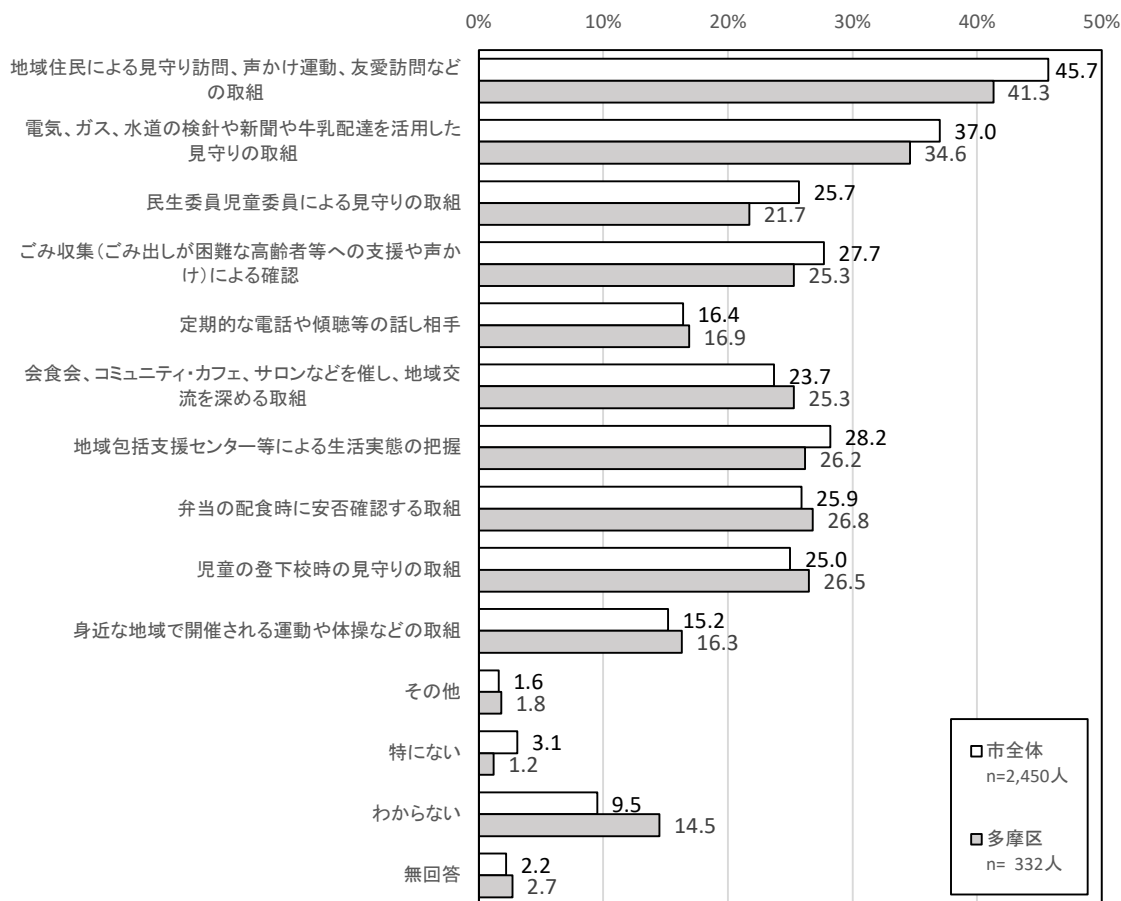
問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

多摩区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が54.5%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」（20.5%）、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」（9.6%）となっている。



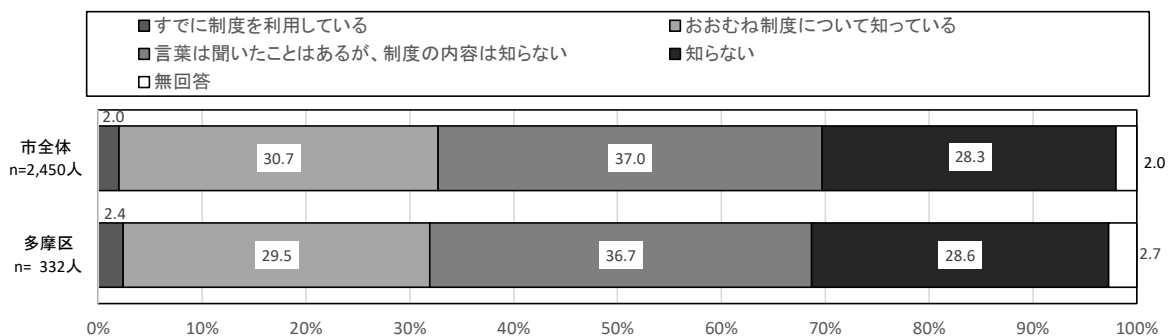
問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）（新規設問）

多摩区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が41.3%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」(34.6%)、「弁当の配食時に安否確認する取組」(26.8%)となっている。



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

多摩区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が36.7%で最も高く、次いで「おおむね制度について知っている」(29.5%)、「知らない」(28.6%)となっている。

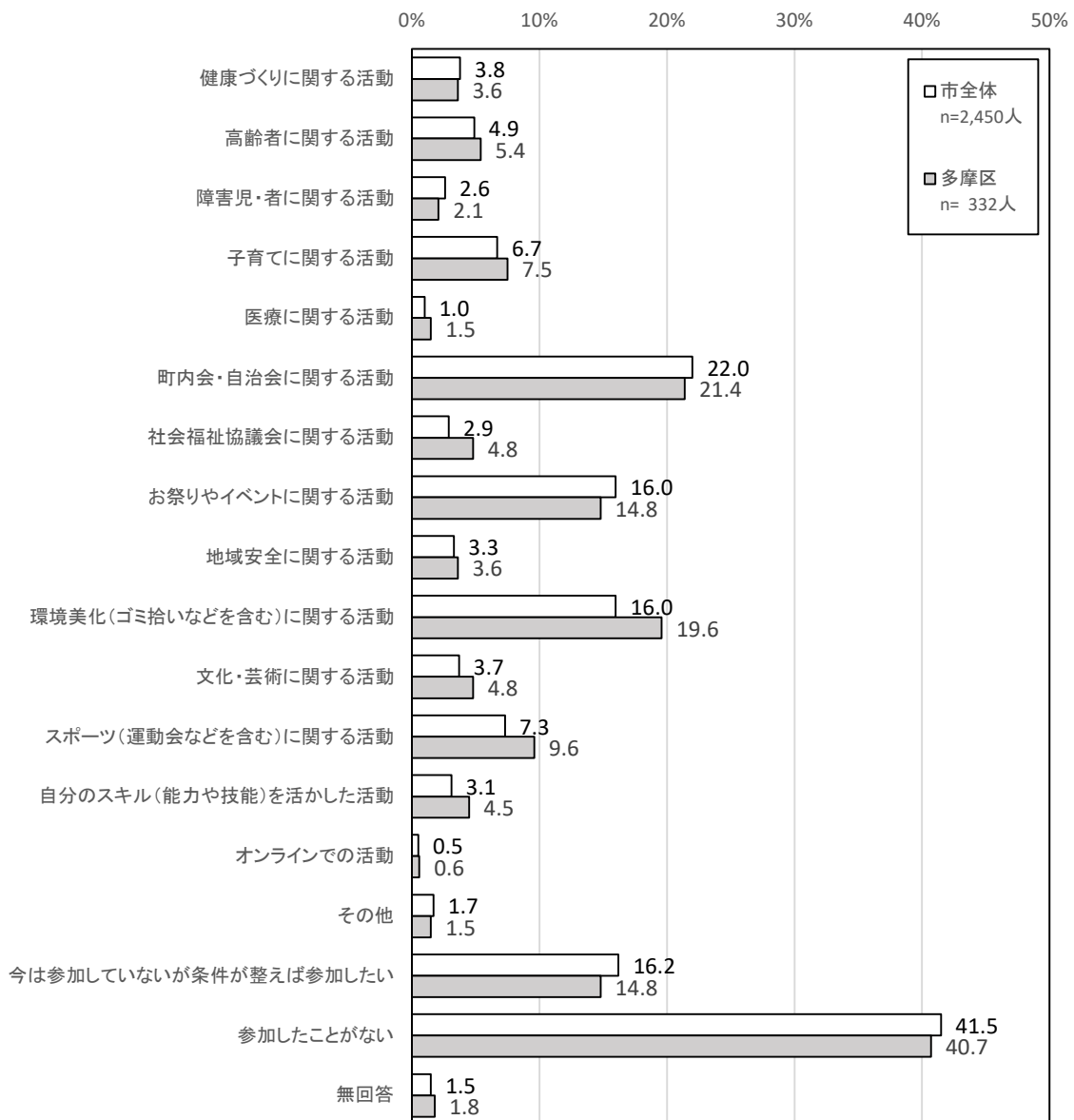


4. 地域活動やボランティア活動について

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

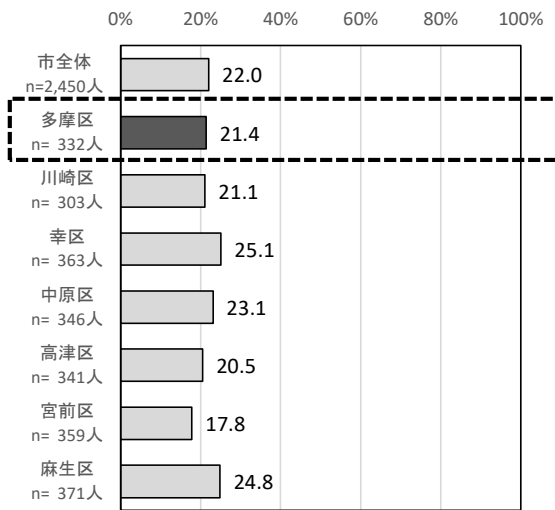
多摩区では、「参加したことがない」の割合が40.7%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（21.4%）、「環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動」（19.6%）となっている。

市内6区と比較すると、「町内会・自治会に関する活動」（21.4%）は4番目に高く、「環境美化に関する活動」（19.6%）の割合は2番目に高い。また、「社会福祉協議会に関する活動」（4.0%）は3番目に高くなっている。また、「参加したことがない」の割合は40.7%で3番目に低くなっている。

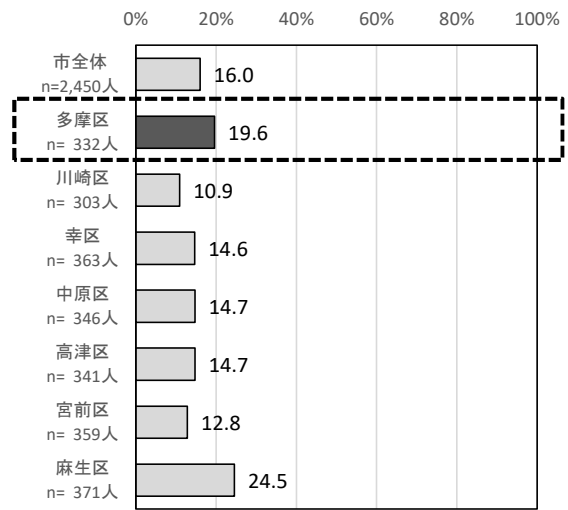


【参考】

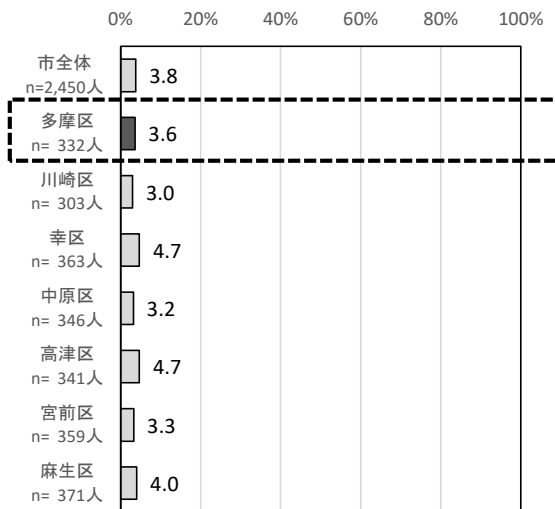
町内会・自治会に関する活動



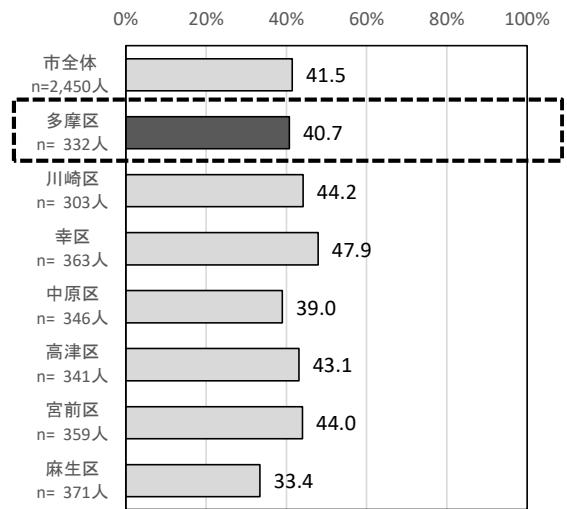
環境美化に関する活動



健康づくりに関する活動



参加したことがない

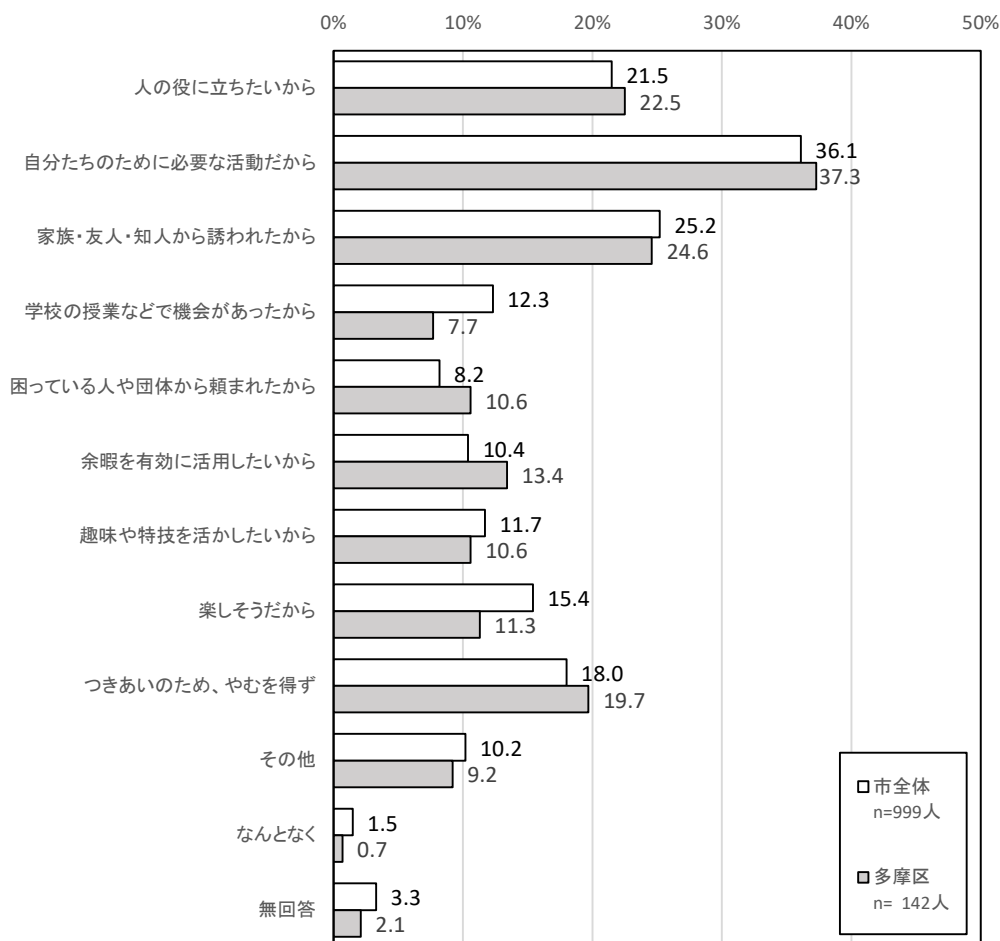


問 30 - 1 《問 30 で「1」～「15」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》

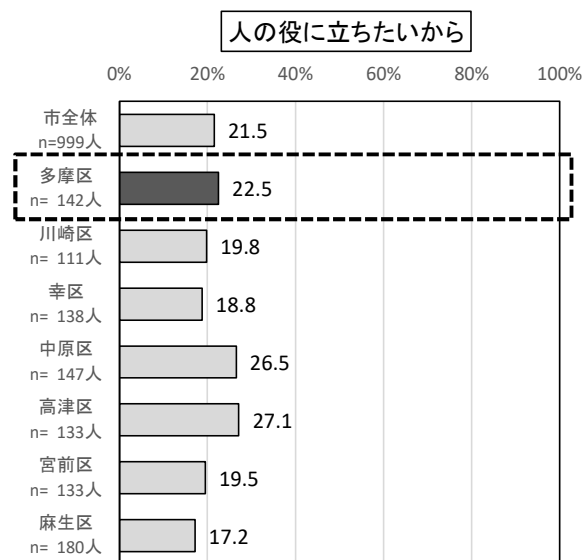
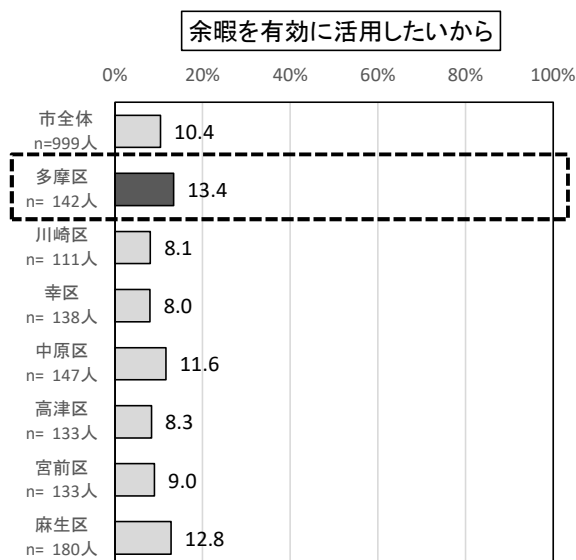
活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が 37.3%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」（24.6%）、「人の役に立ちたいから」（22.5%）となっている。

市内6区と比較すると、「余暇を有効に活用したいから」が 13.4%で最も高く、「人の役に立ちたいから」が 22.5%で3番目に高くなっている。



【参考】

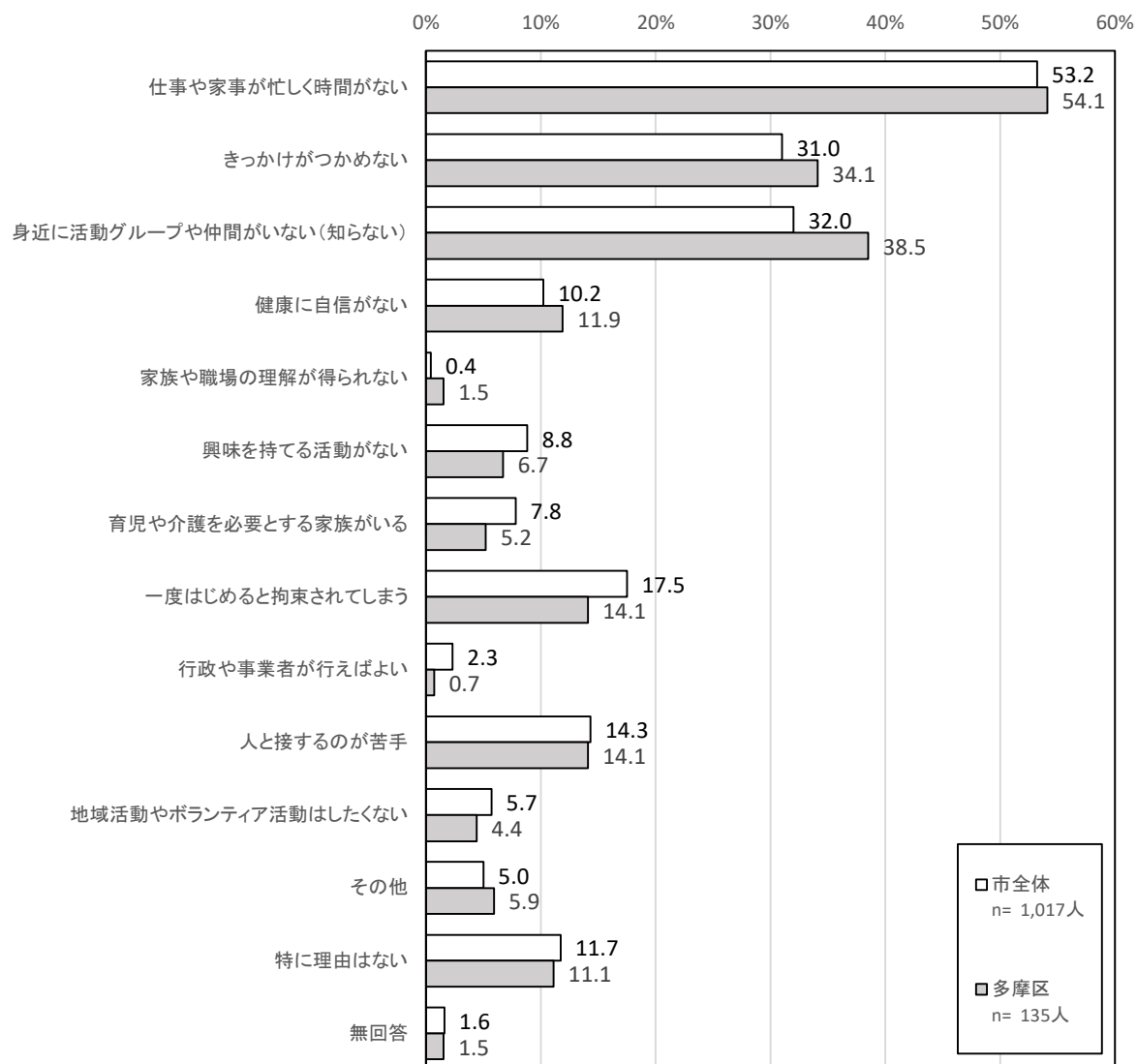


問 30 - 6 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

多摩区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が 54.1%で最も高く、次いで「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」（38.5%）、「きっかけがつかめない」（34.1%）となっている。

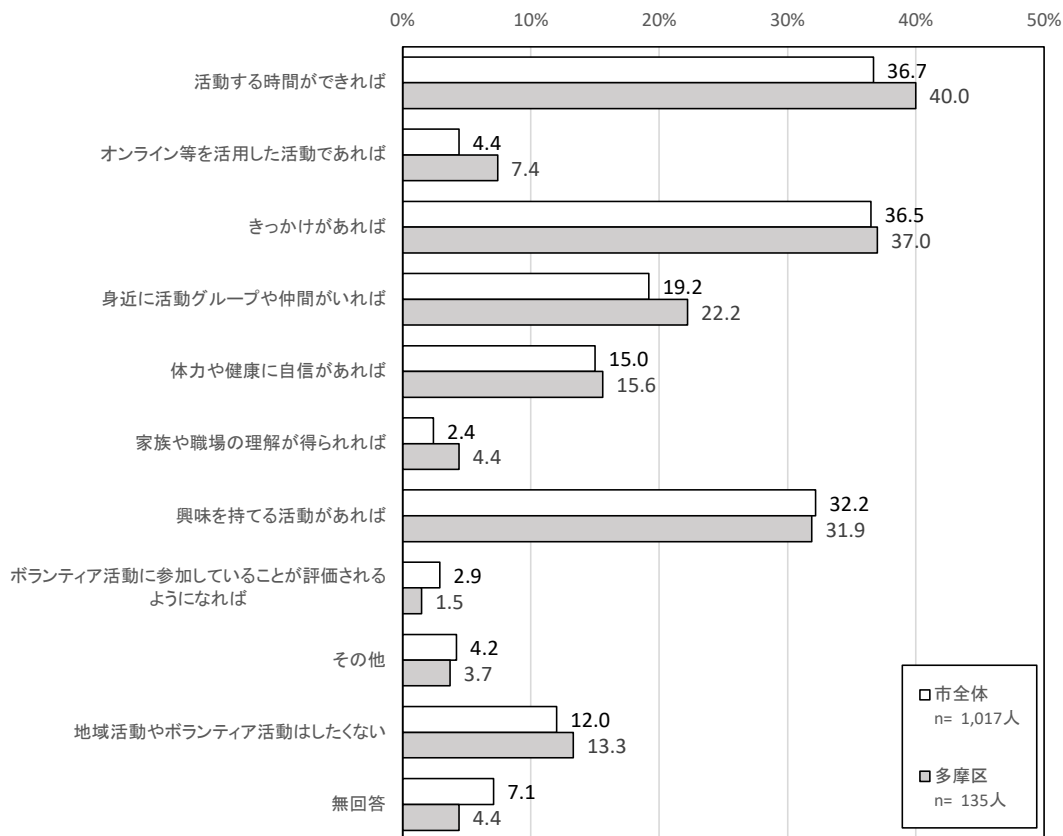


問 30 - 7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

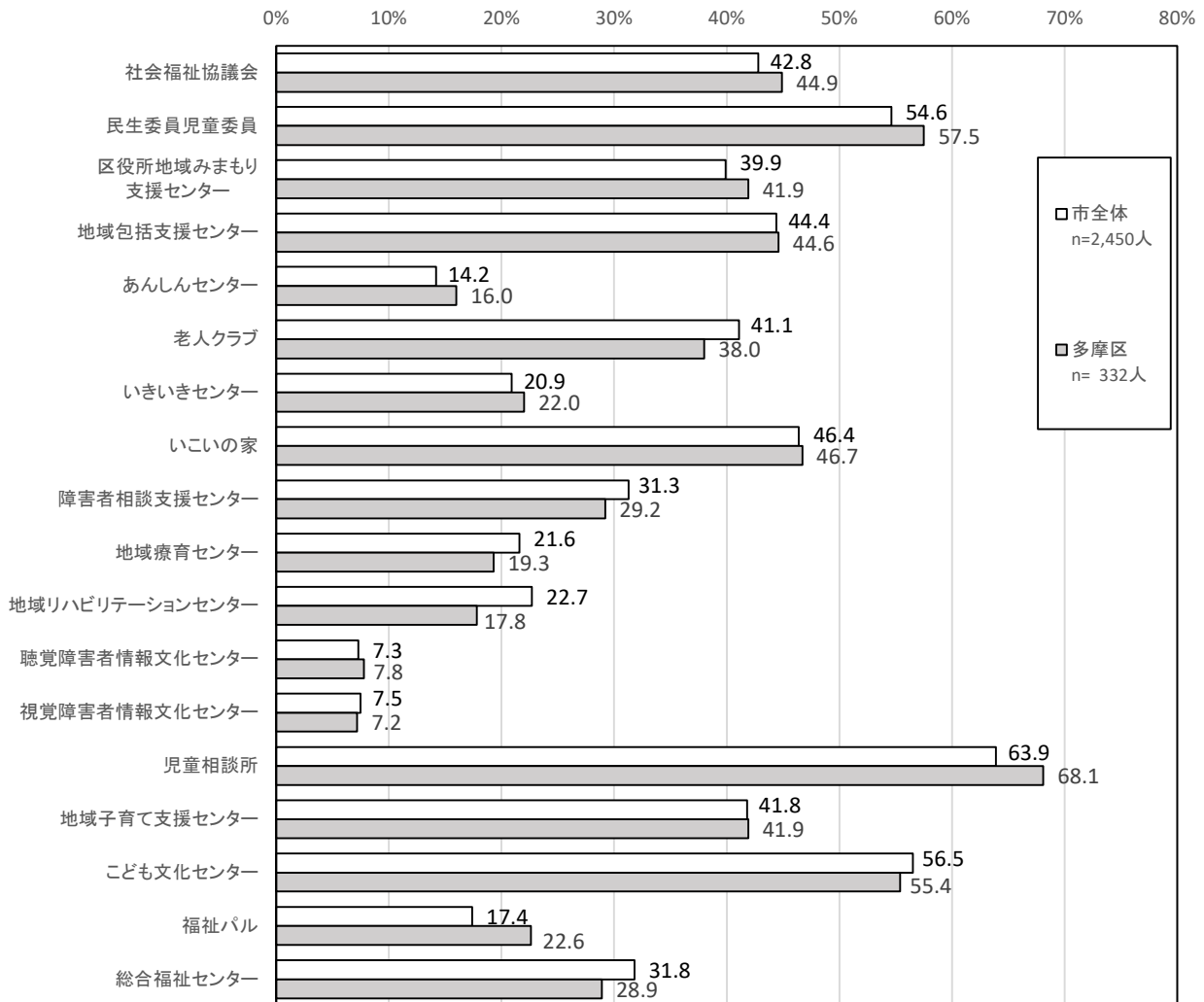
多摩区では、「活動する時間ができれば」が 40.0%で最も高く、次いで「きっかけがあれば」(37.0%)、「興味を持てる活動があれば」(31.9%)となっている。



5. 保健・福祉に関することについて

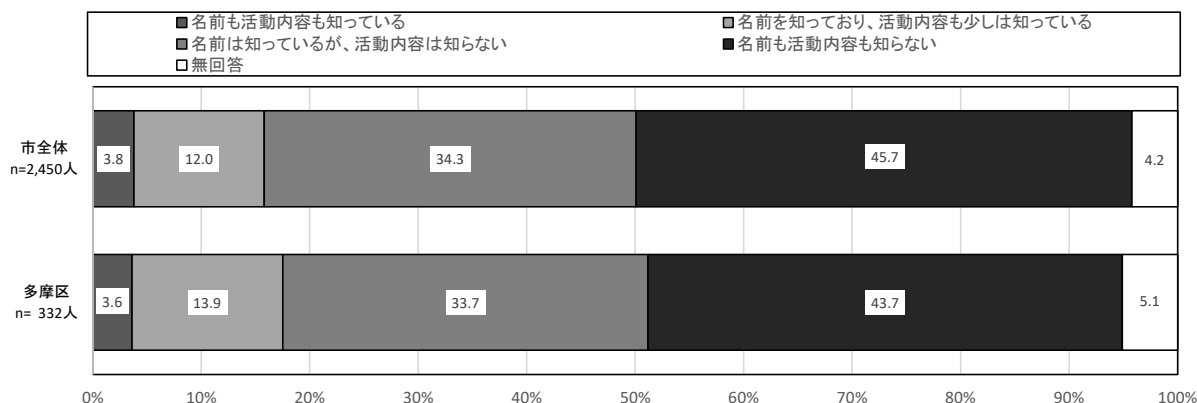
問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存じですか。（○はそれぞれ1つだけ）

多摩区では、「児童相談所」を知っている人の割合が68.1%で最も高く、次いで「民生委員児童委員」（57.5%）、「こども文化センター」（55.4%）となっている。



問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存じですか。(〇は1つだけ)

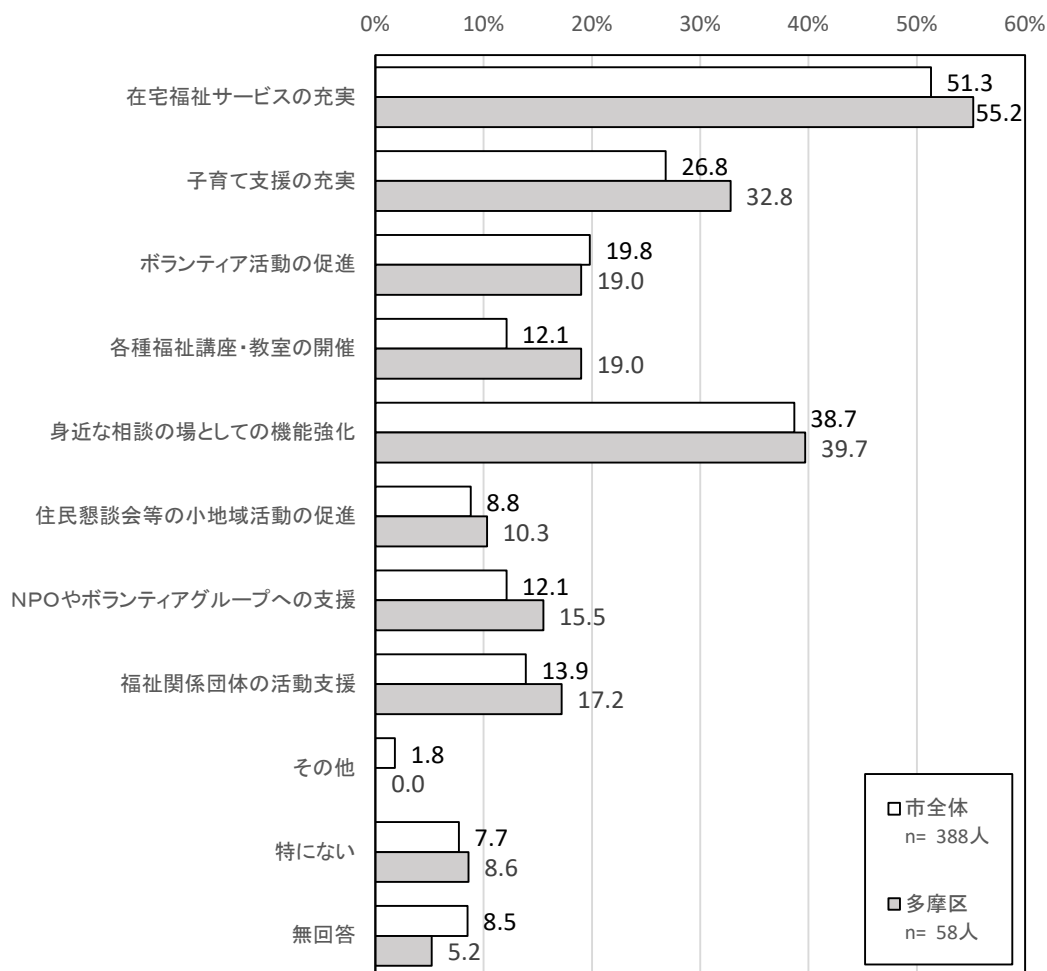
多摩区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が17.5%で、市全体(15.8%)を上回っている。



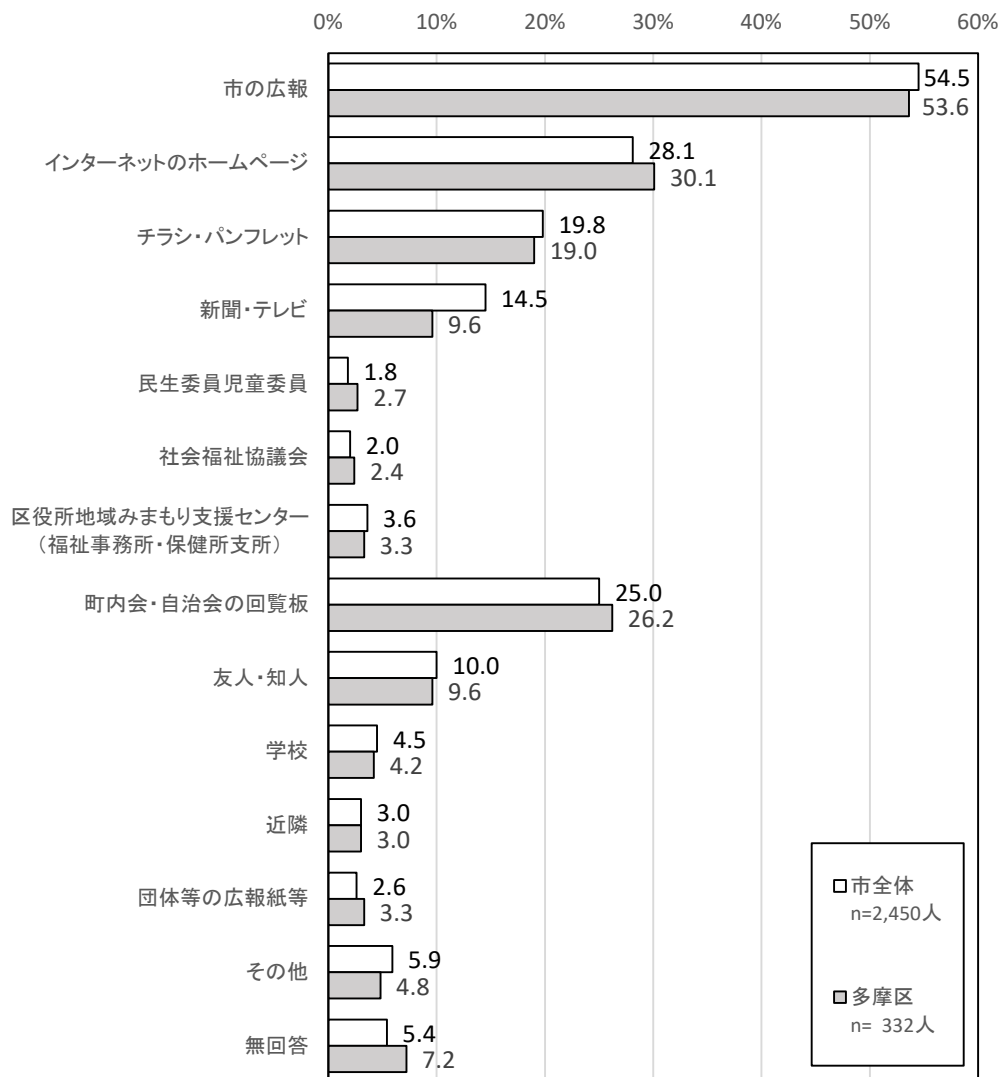
問 32 - 1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。(〇は3つまで)

多摩区では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が55.2%で最も高く、次いで「身近な相談の場としての機能強化」(39.7%)、「子育て支援の充実」(32.8%)となっている。



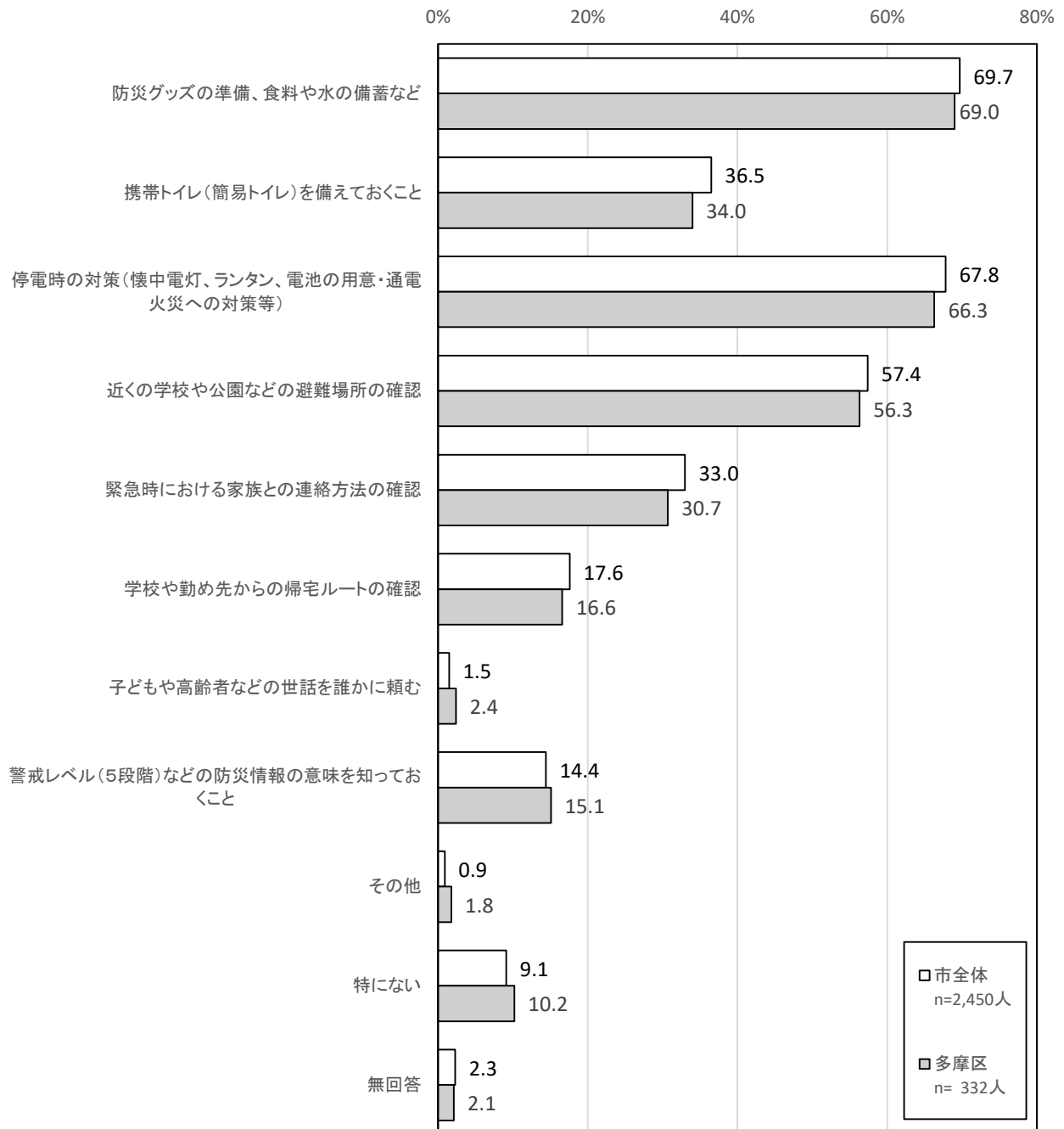
問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)
 多摩区では、「市の広報」の割合が 53.6%で最も高く、次いで「インターネットのホームページ」
 (30.1%)、「町内会・自治会の回覧板」(26.2%)となっている。



6. 防災に対する意識と備えについて

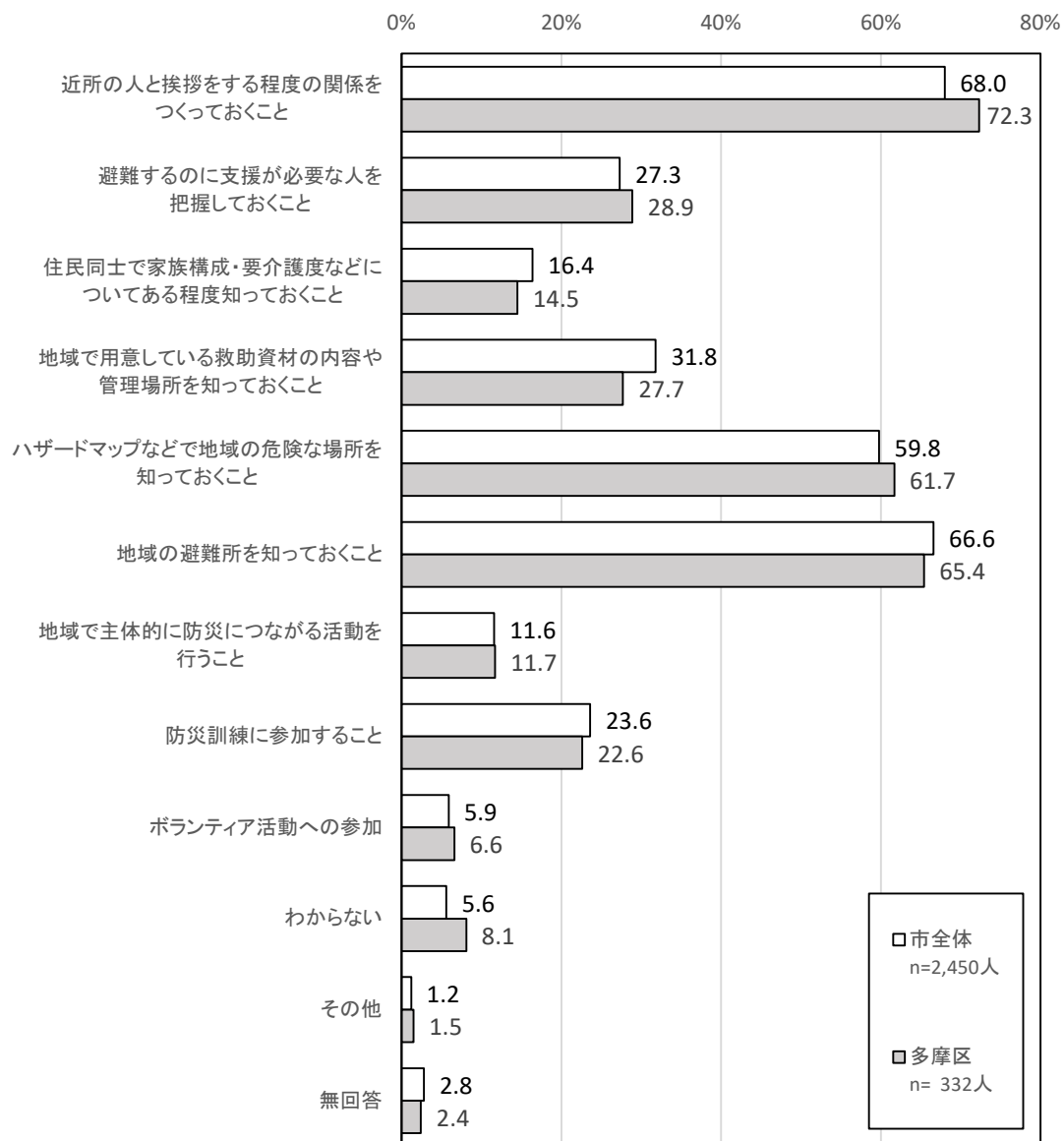
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では、「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」の割合が69.0%で最も高く、次いで「停電時の対策(懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等)」(66.3%)、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(56.3%)となっている。



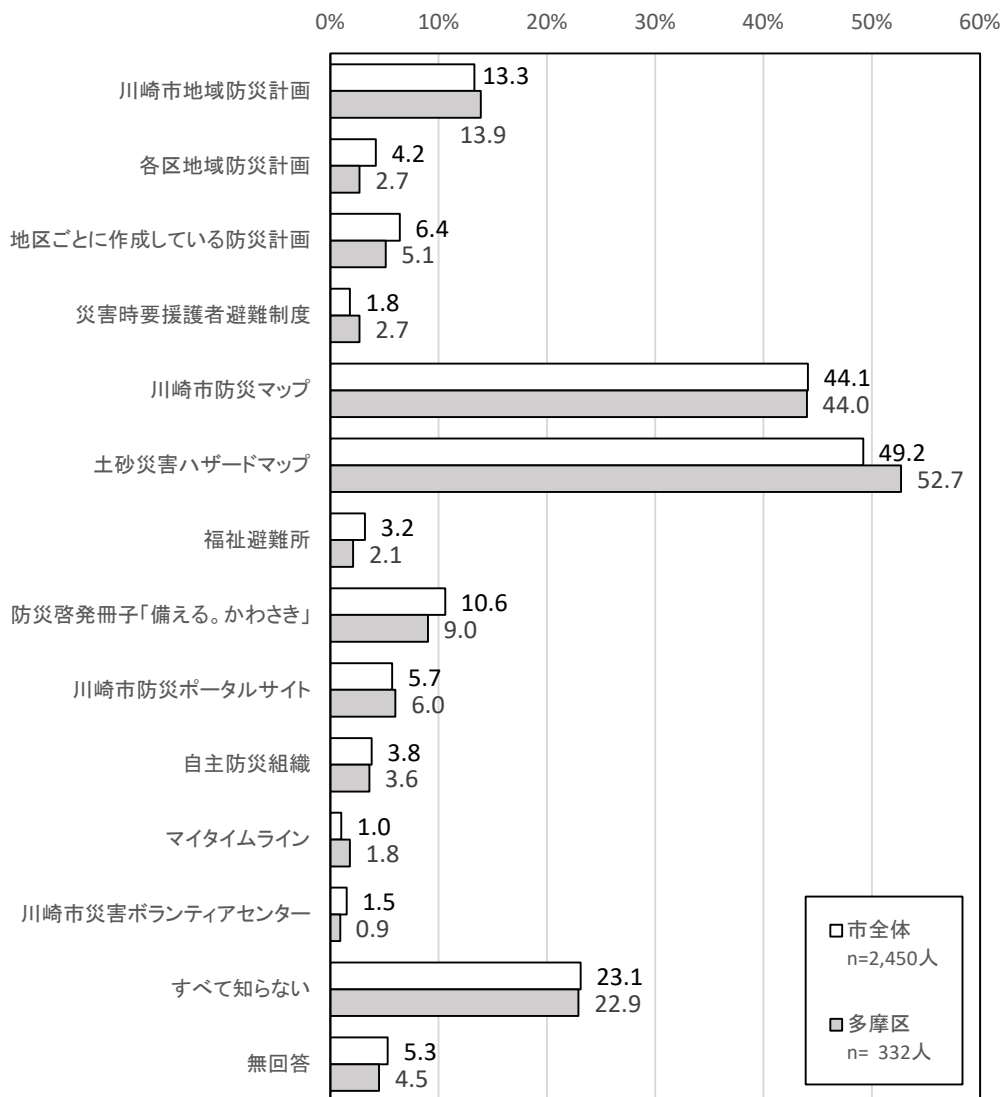
問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）（新規設問）

多摩区では、「近所の人と挨拶をする程度に関係をつくっておくこと」の割合が72.3%で最も高く、次いで「地域の避難所を知っておくこと」（65.4%）、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」（61.7%）となっている。



問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）
 （新規設問）

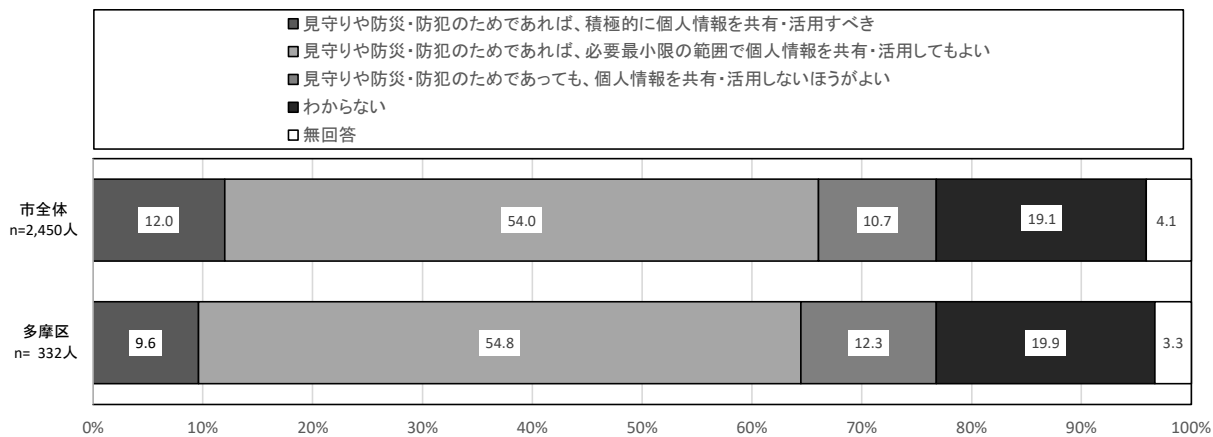
多摩区では、「土砂災害ハザードマップ」の割合が52.7%で最も高く、次いで「川崎市防災マップ」（44.0%）、「すべて知らない」（22.9%）となっている。



問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。

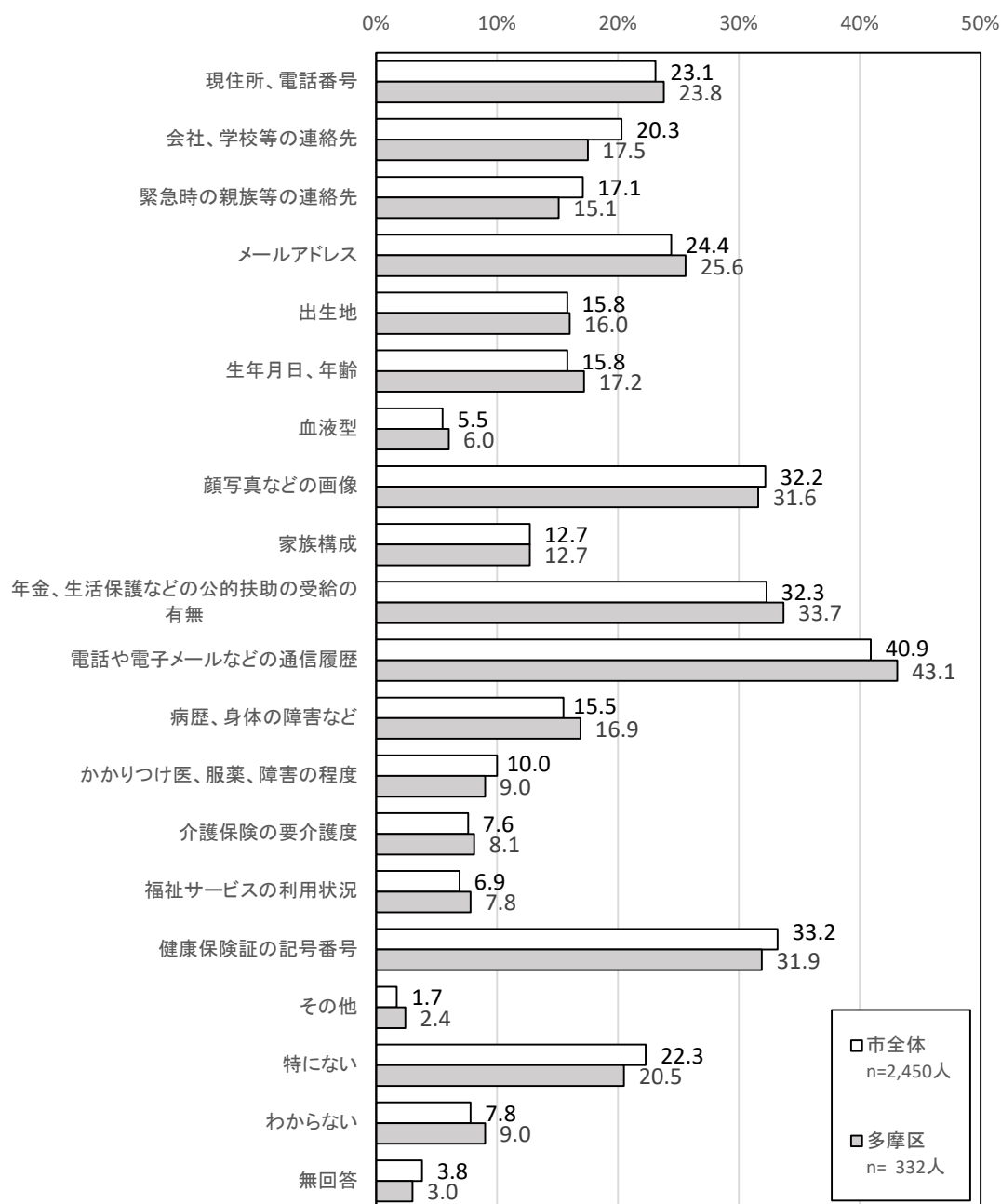
(○は1つだけ)

多摩区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が64.4%となっている。



問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたいくないものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

多摩区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が 43.1%で最も高く、次いで「年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無」(33.7%)、「健康保険証の記号番号」(31.9%)となっている。

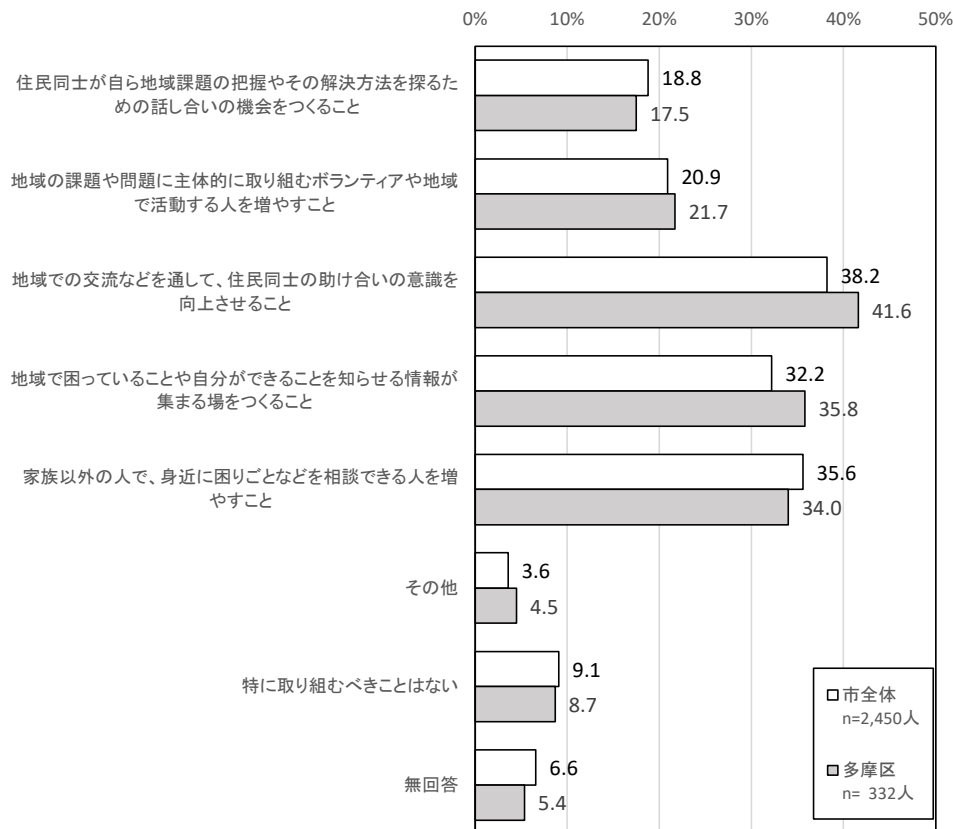


7. 今後の地域福祉の推進について

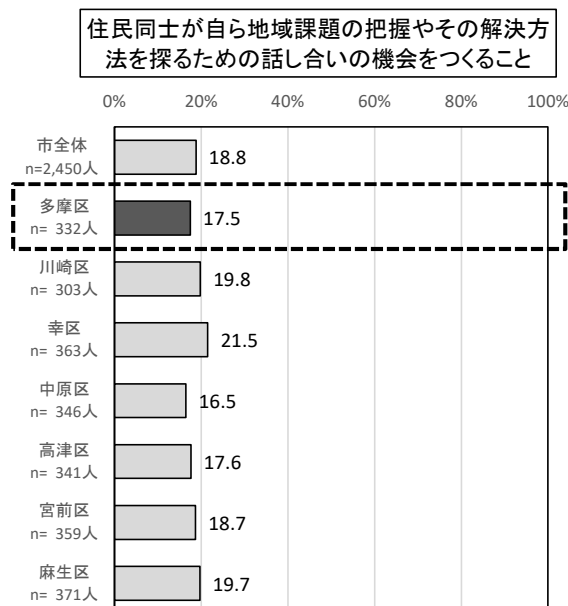
問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」の割合が41.6%で最も高く、次いで「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（35.8%）、「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」（34.0%）となっている。

市内6区と比較すると、「住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること」については、17.5%と2番目に低くなっている。



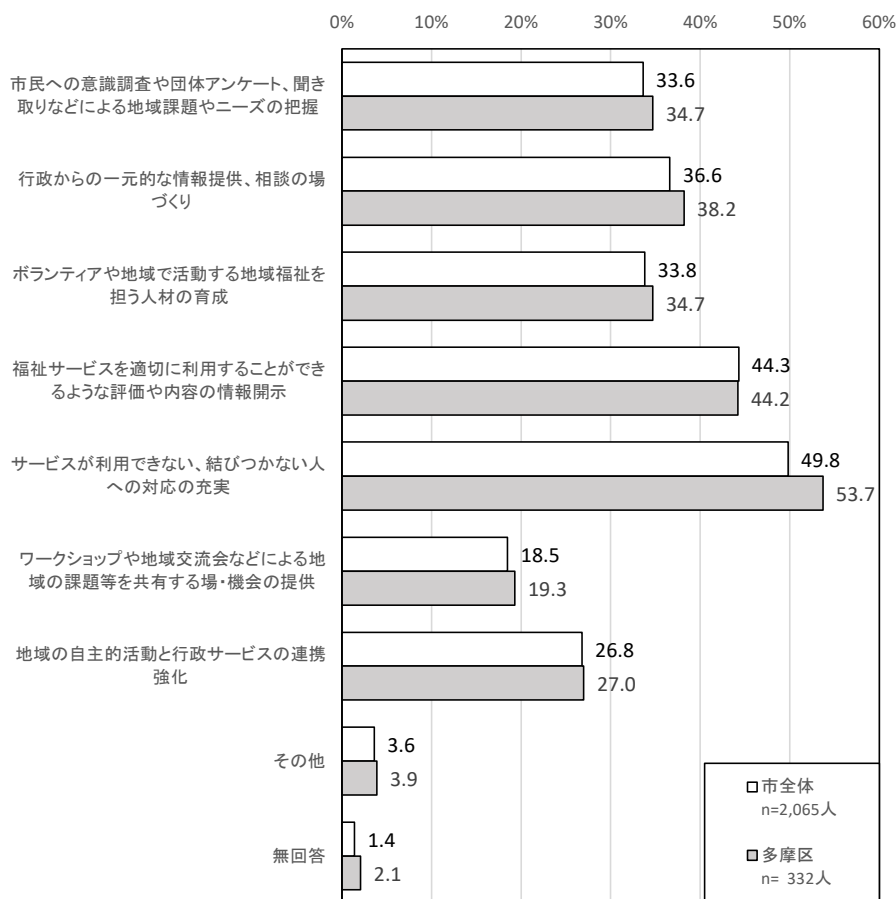
【参考】



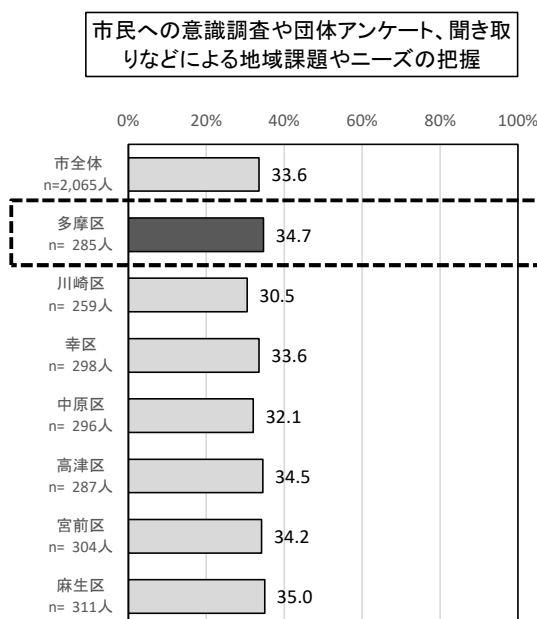
問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が53.7%で最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」（44.2%）、「行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり」（38.2%）となっている。

市内6区と比較すると、「市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握」については34.7%で2番目に高くなっている。



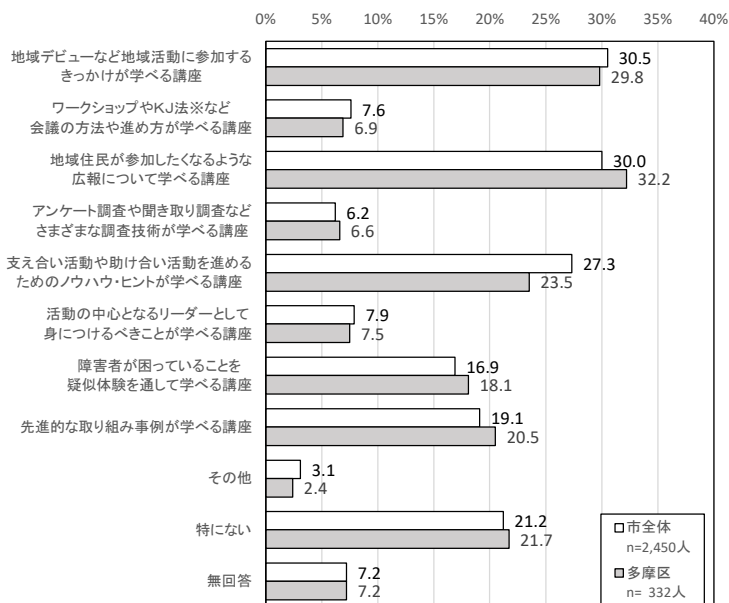
【参考】



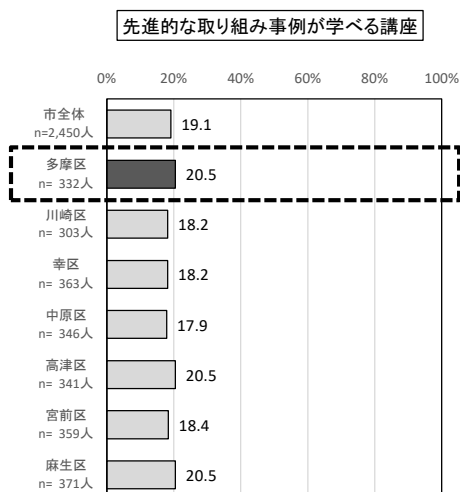
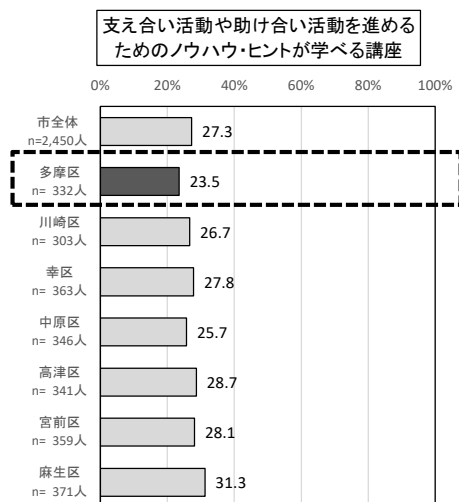
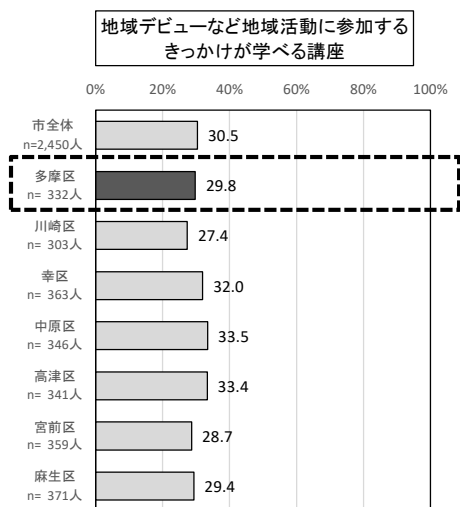
問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

多摩区では、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」が 32.2%で市全体（30.0%）を上回っている。

市内6区と比較すると、「先進的な取り組み事例が学べる講座」は高津区とともに 20.5%と最も高くなっている。一方「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」は 23.5%と最も低くなっている。



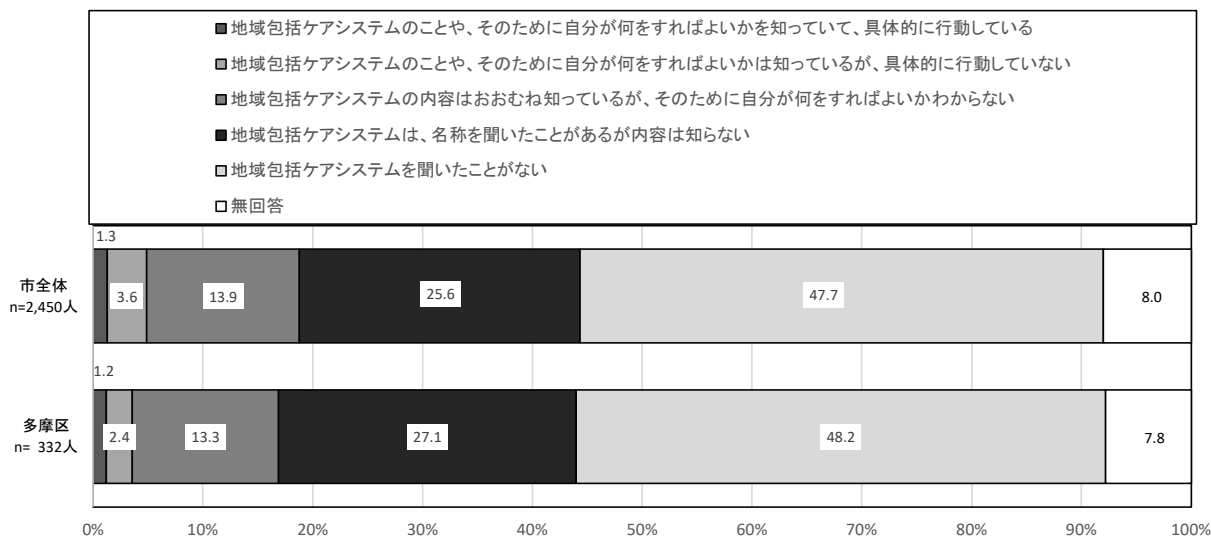
【参考】



問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。

(○は1つだけ)

多摩区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が48.2%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(27.1%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(13.3%)となっている。

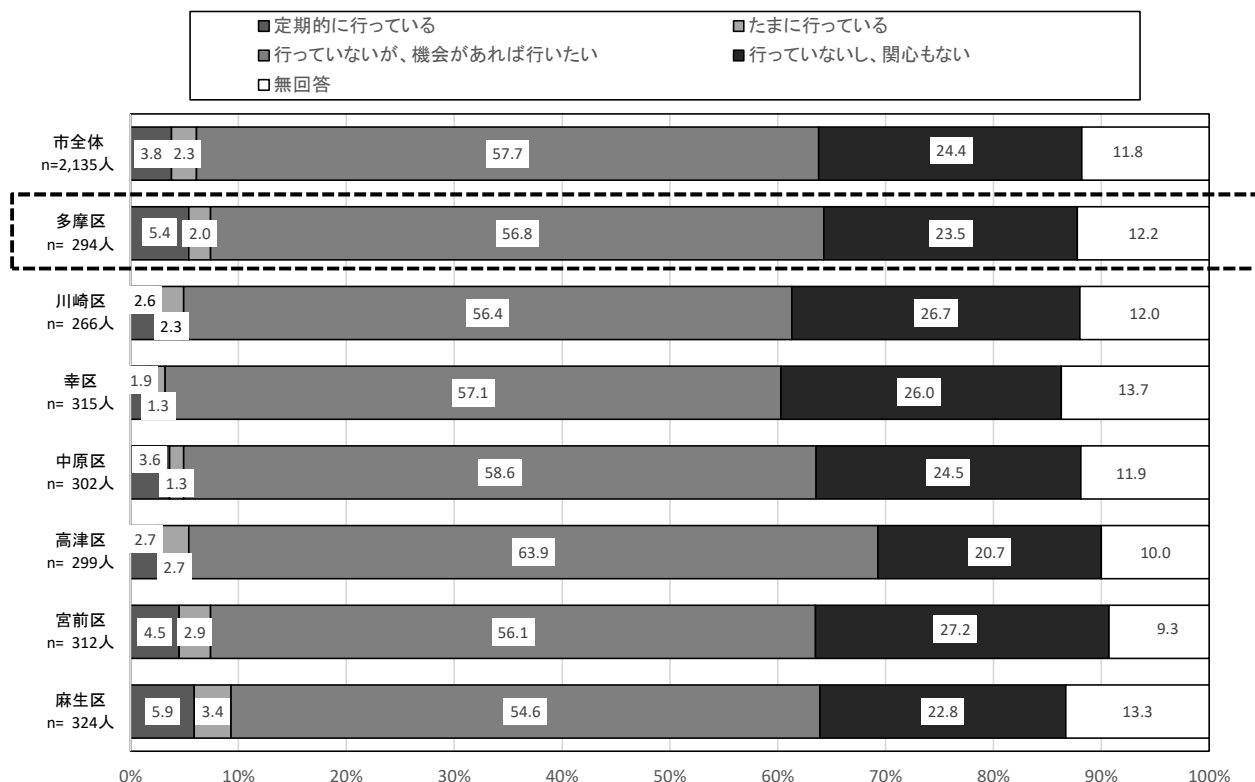


問 44 - 1 《問 44 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかり行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。

(○は1つだけ)

多摩区では、「定期的に行っている」「たまに行っている」の割合の合計が7.4%で市全体(6.1%)を上回っている。市内6区と比較すると、「定期的に行っている」、「たまに行っている」の割合の合計は2番目に高くなっている。



8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

(1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	9
2. 地域防犯・防災に関する問題	20
3. 高齢者に関する問題	19
4. 地域のつながりに関する問題	10
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	10
6. 障害児・者に関する問題	4
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	2
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	4
9. 健康づくりに関する問題	0
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	3
11. その他	9

1. 子どもに関する問題（9件）

区役所管内

	内容
1	保育園が入りづらい（2件）。0才で早めに育休を切り上げるなどしなければならない。入りたい時にすんなり入れるような世の中にしてほしい。少子化なのだから。
2	コロナウイルスで仕事が減り、子育て支援がほかの所より少ない。
3	保育園、幼稚園、こども園等の施設が少ない。マンション、住宅等がどんどん出来ているのに、スーパーやショッピングモールが圧倒的に少ない。電動自転車を使用しているが、それを収容出来る駐輪場が限られている。
4	我が子がお世話になっている（なっていた）中学校、高校は建物の老朽化が激しく（少しずつリフォームで修繕はしていると思いますが）中学在学中、天井から扇風機が落下し、頭にけがをしました（病院で異常はなかったので大ごとにはしませんでした）。高校はコロナ禍で窓を開けるため、冬はこごえる様に寒いです（もともと冷暖房設備がすぐに故障するため）。子ども達の安全、健康のために改善を求めます。
5	子どもの遊ぶ場所が少ない。道幅がせまくて危険な場所が多い。土地をうまく活用できていない。家ばかり建つ。
6	子育て不安な親は毒親となり、自立できない子が育つ。
7	子育て支援等におきまして、最近では、行政関係も取り組んでいるのは認めますが、もうすこし奥深くあればと思います。

生田出張所管内

	内容
1	子ども（～中学生）がいくら騒いでも大丈夫な場所や、保護者の方が安心して預ける場所と交流ができる場所が少ない。
2	遊び場が少ない気がする。

2. 地域防犯・防災に関する問題（20件）

区役所管内

	内容
1	車や歩行者含め、交通ルールを守らない人（子ども～大人）が多い。猛スピードでつっこんでくる車、歩道を走るチャリ、周りがよけてくれるだろうと思っている高齢者。守っている自分がバカバカしい！と思う時がある。
2	騒音。
3	車→スピード出しすぎの事例多数。自転車、バイク→子どもを違法な形で乗せている事例多数。歩きタバコ、公道での喫煙多数。
4	人通りが少ない所があり、不審者情報が出たこともあるので、子どもの安全を守れるとよい。
5	地域での防災や他の催しが平日日中がほとんどのため、参加が難しい。
6	スクールゾーンでの車の往来など、いつ事故が起きても、おかしくない状況。
7	台風などの水害、地震など大きな被害があった時にスムーズに対応できるか心配。
8	小学校低学年の子どもが暗くなってから学童より1人で帰宅している姿を見て、とても危険ではないかと心配になった。高齢者が1人で目的もなさそうに歩いていると帰れるか心配になる。
9	見知らぬ人がマンション内に立ち入った。
10	災害が起こった時に、具体的にどのように行動したら良いのかはっきりとわからない。
11	大きな地震が予想されている現在、その時に助け合う必要がある。いまは、何も（問題）ない。健康なので、身近に感じていないが、そのような問題が発生したときに、どうすればよいかと不安になる。
12	防犯、防災につきましても、直接家庭に対しきめ細かな指導があっても良いと思う。
13	遊び場集まる際子ども達が乗って来る自転車の置場がない。路上駐輪禁止（有料駐輪場には止めない）。交通の妨げになる。防災訓練に関心がうすい。
14	5の件について、住み始めた頃は周りの家屋も2階建て位だった。現在は3階、5階建てのマンションが多く建ち、防災放送が聞こえない。もうすこし聞こえるようになるといいが・・・むりかなあ～！
15	ごみ、防犯（不審者）。
16	狭い道路、両側に建物が迫り、学童の通学、帰路があり、車の運転に気を使う。通学にもよくない。

生田出張所管内

	内容
1	交通安全が守られていない交差点がある点（車両・歩行者共に）。（2件）
2	家の周りで整備されていない道路等があり危険を感じる。
3	歩道がせまい。夜、道がくらい場所がある。
4	車の駐車問題：自宅の周りで無断駐車の車に困っている。近隣の大学へ通う生徒の横行や、住んでいるアパートやマンションでの騒ぎに苛立ちや恐怖を感じる。

3. 高齢者に関する問題（19件）

区役所管内

	内容
1	要介護にならないと入浴介助の援助はないのでしょうか？
2	高齢者が増えているので、安心安全な街づくりができていますか。
3	老人が人口の多数を占めているため、福祉が高齢者にかたよりがち。多様性が求められる時代において、外国人が積極的に参加出来るような仕組みが役所内のいくつかのイベントしかない。
4	バリアフリーがもっと広まってほしい。

	内容
5	コロナ感染の心配で今は無理かもしれませんが、高齢者の方が集まれるイベント、また何かあった時の施設情報など知りたい方が多いように思います。また多くの方が聖マリアンナへ行く方が多くバスが向ヶ丘遊園から出てますが登戸からバスがあるといいなあと感じました。
6	高齢で独りで住んでいらっしゃる方が多いようで、日々の買い物や地震が起きた時など大丈夫なのか心配になります。
7	高齢者から淋しさ、不安についてよく話しかけられる。一人暮らしの人が多いがコミュニティバスがない。
8	高齢者の一人暮らしの方の見守りや安否確認がほとんどないと思う（近所に高齢一人暮らしの方が多い）。
9	高齢者の移動がタクシーのみとなり高額になってしまう。
10	高齢者が増え続けており、助け合いが成り立たなくなっている。
11	ヘルパーの車が目立って、利用される方が多くなっている。ホームヘルパーの方が訪問介護など気になる。
12	同区内在住の友人より近所の高齢女性が白骨化した遺体で発見されたらしいという情報が入ってきました。人ごととも思えず、多くの課題を突きつけられた気がします。
13	地域に高齢者が多い。若い人や子どもが少ない。
14	孤独、独立が心バランスを崩す。介護される者←不安が体調に影響。
15	特養ホームをもっとほしいです。
16	高齢者等におきまして、最近では、行政関係も取り組んでいるのは認めますが、もうすこし奥深くあればと思います。
17	高齢御夫婦を見かけます（車椅子を使う）。

生田出張所管内

	内容
1	「大丈夫かな？」と思う高齢者をよくお見かけします。道も狭く、車が来ている事にも気付かない御様子ですので…。
2	独居生活なので何かあった時に、すぐに頼れるところ、連絡できるところが救急車以外でほしい。簡単に言えるところで。

4. 地域のつながりに関する問題（10件）

区役所管内

	内容
1	転入して間もないため、交流する機会や方法が分からない。
2	知りあいがいない。
3	他世代（高齢者～子どもまで）の交流が少ないと思う。公園や地域活動で色々な世代が関わり合い顔見知りになる事が大切だと思う。
4	町内会のイベントは地域に住む人々の交流の場。町内会としては行ないたいようですが、コロナ禍では難しく回数が減っている。
5	高齢者が家に1人になりがちでその支援がない（要支援認定だと介護保険でみてもらうことはできない為福祉からもれてしまう）。高齢者の買い物、移動等の手段がない。免許を返納してしまったので、坂道の多い当地域ではバスに頼るしかないが、バスも1時間に2～3本程度でしかも重いものは持てないので、買い物難民になっている。バスの乗り降りも不自由な場合、家にとじこもりつきりになり、どんどんボケてしまう。稲城市のようにコミュニティバスとかを走らせることはできないものか。
6	町会のイベント等での参加者が少ない。

	内容
7	町内会や地域の活動がコロナ問題で減少しているため、交流や集会在以前のように開催されず、楽しみ、生きがいなど持てない生活となっている。
8	個人個人のプライバシーの保護。
9	回覧板の受け渡しの時のみ挨拶程度の近所との付き合い。心配事、生きがいづくり等は、他の町会で情報を得ている。
10	近所のアパート、マンションは、それぞれ専用の集積所をもっており、散在する戸建ての家はグループを組んで集積所を作っていますが、離れていると、ごみ出し、管理等、悩みのタネです。

5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（10件）

区役所管内

	内容
1	地域活動について情報が入ってこないこと。
2	同じ新築エリアに住んでいる人達のごみ捨てへの意識の違いのストレス（4件）。ごみの日じゃない日にごみ出しをし、カラスが問題。粗大ごみなのにシールを貼っていないのでずっと回収されずにごみすて場にどンドンごみがたまる。ごみすて場の隣の家なのでカラス被害のごみが私の敷地内にも入ってくる。
3	町内会に入っているが高齢化がすすみ、新しく地域に入ってきた人達とごみだしの問題などで頭をいためている。
4	80前後の両親が子どもに迷惑をかけないように、自分で病院などを探す際に、スマホや携帯もなく、PCもない状況で探したがわからずにいること。区役所へ行けばわかるのかもしれませんが、そこまで足を運ぶことも大変な状況の時にどうしたら良いのかわからないようでした（仮に役所へ行っても親身に聞いてくれるかどうかも）。
5	ごみの集積場所を知らないのか、ダンボール等の資源ごみが通常のごみと一緒に捨てられているのを見かける。
6	情報がネットで発信されたりして高齢者は知ることができにくい。
7	コロナ禍で在宅時間が多くなったためか、音やごみ出しなどについて、なんとなく以前より神経質になっている人が多いように感じる。異なった世代のコミュニケーション、長く住んでいる方々と、空家だったところが取り壊され新しく建った家に入居された方々などとの円滑なコミュニケーションを望みたい。
8	地域に関する情報はまったく入ってこない。
9	ごみ収集・ごみ当番・ごみ箱の管理。自治会（町内会）非加入者（新築戸建への転入者に多い）の非協力的態度。高齢・身体上の制約で活動に加われない。見守り制度の不在。

生田出張所管内

	内容
1	特にこれという事はありませんが、以前子どもが学生の時は役員等を通して、区の活動にも参加できましたが、今はその入口が分からず・・・情報をもっと得たい、参加したいとは思っている。

6. 障害児・者に関する問題（4件）

区役所管内

	内容
1	障害児、等におきまして、最近は、行政関係も取り組んでいるのは認めますが、もうすこし奥深くあればと思います。

生田出張所管内

	内容
1	近所にいる発達障害のあると思われる男性・・・いつも一緒にいるお母様が亡くなられたらどうなるのか・・・。
2	麻生区は障害者の為のグループホームが少なすぎる。女性5名程入居出来る一軒家のグループホームが欲しい。
3	アスペルガーの子どもの事で役所に相談に行っても、本人をもう一度医者診断を受けさせるように言われ、それをしないと一歩も対応してもらえない。15年前から（本人も）自分なりにいろいろ努力しているがよくなる状態なのに、15年前と同じようにもう一度ゼロからやりなさいと言われても出来る訳がない。もうすべてをあきらめているのだから、本人があきらめているならいっさいの支援はできませんという区役所の対応には疑問が残ります。

7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（2件）

区役所管内

	内容
1	健康福祉局生活保護・自立支援室が担当している「川崎市学習支援、居場所づくり事業」ですが、取組自体はとても満足しています。ですが、活動回数を増やす必要があると思います（中学生は、テスト期間だけでも週3回にしたり、受験前日は毎日開いてあげるべきだと感じています）。寺子屋事業では可能でした。
2	ごみの収集場所がいつも溢れている。足りないと思う。

8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（4件）

区役所管内

	内容
1	妊活したいと思っているのですが、何から始めたらよいのかわからないことだらけです。皆さんどうしているのでしょうか。
2	子育てに関する雑談。
3	コロナで保育園や近所のママさんとの交流機会が激減し、孤独感を感じることもある。

生田出張所管内

	内容
1	出産したばかりの母親が、父親が仕事で遅いと人とコミュニケーションをとる機会が少なく、頼れる人を探すのが大変そうです。

9. 健康づくりに関する問題（0件）

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（3件）

区役所管内

	内容
1	地域における活動。子育てしやすい環境（手伝える人がいない）。
2	身近な事例はないが、マスコミで報道されている上記の問題事例が地域社会、川崎市でも発生しているのであれば改善が必要であり、市民の福祉の増進を希望します。
3	いこいの家にはいろいろな講座や体操教室があるが、日頃からいこいの家を利用していない人は全くわからない。

11. その他（9件）

区役所管内

	内容
1	具体的なことは思いつかない。
2	特に身近な事例なし。
3	そもそも、何が問題なのかわかりづらい。そのことが問題ないという事なのか…。そういう選択肢がない事に、すでにアンケートをやる意味があるのか疑問に思う。
4	どのような問題があるのかわかりません。問題点の広報→認知は難しい（言いにくい）かもしれません。みんなで問題点を出し合って、みんなで解決方法を出しあうのは、難しい、というかそれをどう運用していくか、ルーティン化していくかを考えなくてはいけないのでしょうか。

生田出張所管内

	内容
1	収入。
2	何と書いたらよいか、むずかしいです。
3	関心が薄い。
4	一般論。
5	ある問題が生じた時、その解決策を提示しても”どうせ無理”だろうとしてついて来ない。

(2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	5
2. 地域交流のため	8
3. 社会貢献	13
4. 健康維持	5
5. 時間に余裕があるから	1
6. 身近で関心・興味がある	7
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	4
8. 街の美化のため	10
9. 時間に余裕がなく、できない	4
10. 病気・高齢だからできない	4
11. 参加する気はあるが方法がわからない	0
12. その他	12

1. 自分自身や子どものため（5件）

区役所管内

	内容
1	必要としてくれる、子どもたちがいるから。（2件）
2	自分の持てる力を活かしたいから。
3	自分の生活に必要だから。
4	情報が得られる。安心してくらすことができるようになる。元気になれる。友人が増える。

2. 地域交流のため（8件）

区役所管内

	内容
1	コミュニティ内でスキルの活用とコミュニケーションの深化。
2	子どもたちに楽しんでもらいたいから。
3	子どもの頃からの町内会なのである程度は愛着があります。
4	そもそも人との関わりが好きだから。その結果、性別、年齢を問わずのネットワークが構築でき、生活自体が豊かになるから。
5	地域交流を必要と考えるから。
6	年に見合った活動していきたい。地域の事があまり知らなく、情報が無いため。

生田出張所管内

	内容
1	子どもと一緒に楽しめそうだから。
2	自分自身の活動が地域の為、自分の充実の為になるように。

3. 社会貢献（13件）

区役所管内

	内容
1	祖母のような人の役に立ちたい。
2	気軽にできて、地域貢献ができる。自分のスキルなどを他の人へ教えたりすることで役に立つ。
3	子どもと一緒にボランティアに参加してみたいから（親もそうしてくれたので、子どもにもそういう教育をしたい）。
4	高齢者、障害者の住みやすい地域づくりが必要だと感じているため。
5	夫も私も川崎市出身で、地元で育てたいと思い子育てをしています。東京都と比べて、（多摩川でのバーベキューもそうですが）人に寛容な土地柄、地域の活動も残る土地柄だと思います。その点を活かしつつ、次の世代につなげるためには、子ども達に関する活動、シングル家庭や障害児・家庭も平等に教育（就業）を受け、地元で働き子育てしたい方を増やすのが、その理由です。
6	高齢化社会になるから。何かできることをしなくてはいけないと思う。（2件）
7	社会に何かしら貢献して、人生を終わりたいので。
8	子育てを終えて振り返ってみると、町内会や子ども会など地域の人達の活動に助けられていた事が分かりました。恩返しでないけれど少しでもできる事があれば、力になりたいと思います。
9	同じ地域で暮らす、高齢者や子ども達の為にできることがあれば協力したいし、自分の暮らす所が安心・安全な居場所であってほしいため。
10	自分の出来る事で人の役に立ちたい。
11	余暇を有効に活用したい。自分が役に立つことなら社会参加したい。
12	定年後の人生を少しでも社会のために役立てることができると。

生田出張所管内

	内容
1	我が子が今後生きやすい世の中になるよう私たちの代でも出来ることをしたい。

4. 健康維持（5件）

区役所管内

	内容
1	人と接することは大事だと思います。健康は幸せなことだと思います。
2	健康が元気に生活するための基本だと思うから。
3	自分が寝たきりにならない為、健康作りには常日頃気を付けたり、機会があれば、興味を持って参加したいと考えている。
4	文化、芸術に関することは、頭の体操になると思います。
5	自分の健康に気がついて色々学んで行きます。

5. 時間に余裕があるから（1件）

生田出張所管内

	内容
1	現実的に可能なので。

6. 身近で関心・興味がある（7件）

区役所管内

	内容
1	興味ある活動であるから。
2	自由に使える時間が少ないので、好きな事なら参加が負担にならないから。
3	自分の経験が活かせるので、ハードルが低く感じるため。
4	自分の経験を活かせる活動や、自分が関心のある活動にまずは参加してみたいと思うので。

生田出張所管内

	内容
1	興味があるから。
2	楽しそうなものには行きたいから。
3	現在実施しているボランティアの延長。

7. 仕事をしてきた或いは資格があるから（4件）

区役所管内

	内容
1	医療系の仕事をしていて、役に立てそうだから。（2件）
2	保育士として働いているので、自分の経験を活かすことが出来るのであればと考えている。
3	現在福祉施設に勤務しており、経験や知識を活かしやすいと思うため。

8. 街の美化のため（10件）

区役所管内

	内容
1	ごみ拾いにより、まちをきれいにしたい。治安もよくしたい。子の安全を確保したい。
2	環境美化・・・コロナ禍になりあきらかに道や公園にごみがおちていてとても悲しい。子どもたちが、美しい日本の心を身につけてほしいからやっていきたい。障害をもっている人の気持ちがわかる（家族含め）ので役に立ちたい。
3	まだ自分の子どもが小さいため、直接関係するから。川の美化など興味がある。
4	家の敷地にごみ捨て場があります。が、分別もしない、収拾後のごみ捨て、当たり前のように捨てていく姿、悪びれた様子もなく、見ていて非常に不快です。自分が住んでいるところがごみだらけなんて悲しすぎるし、キレイにしていたら、それに気づいて気持ちも変わるのかもしれない。この件だけではないですが、人間のモラルのなさにあきれてしまいます。
5	街はみんなでキレイにして生活しやすくする。
6	地域をきれいに保ちたいから。
7	快適な環境で暮らしたいから。
8	住まい・近所がきれいになるのは、とても気持ちが良く、多少は自分の運動にもなる様な気がします。

生田出張所管内

	内容
1	高齢者か、共働きか、学生しか住民がいないので道路等、誰も掃除をしない。住んでいる所が汚くなるばかりだから。
2	少しでも地域を美しい、安全な場所にしたい。

9. 時間に余裕がなく、できない（4件）**区役所管内**

	内容
1	子どもがいるため。
2	仕事も多忙でなかなか時間がとれません。
3	仕事が忙しい為。祭など楽しそうな季節のイベントはもしあったら参加してみたい。
4	仕事をしているので必ずとは参加できませんが時間があえば色々参加したい。

10. 病気・高齢だからできない（4件）**区役所管内**

	内容
1	体が不自由だから。
2	高齢のため、活動に参加出来ない。
3	体力に余力なし

生田出張所管内

	内容
1	今現在働いてはいますが、元々足が少々不自由があるため。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（0件）**12. その他（12件）****区役所管内**

	内容
1	会社のイベント、関わりや友人とのつきあいで充分と感じる。
2	地域に参加して、支え合い、助け合うことは社会人として必要だと思う。ただ、具体的にになると、人づき合いも得意じゃないし、スキルも（車の運転などは特に）ないので、たいしてできる事がないように思う。今の世のプライバシーやハラスメントなど、社会常識の教育を受けないとトラブルばかりになりそう。善意のつもりでも、トラブルやストレスを抱えてまで、参加したいと思えない。迷惑をかけずに日常を送るで十分と思ってしまう。15.自転車にも、法が厳しくなったから、知らず知らずのルール違反が心配。大人になると受ける機会がない。
3	参加するならという意味で特に参加の意志はない。
4	世田谷で句会に所属しておりました。
5	自然が好き。
6	東京都内において、生活保護のケースワーカーとして、20 数年従事。現在、母子生活支援施設に臨時（65 才～）職員（警備）として従事している。
7	気軽に参加できそうだから。（2件）
8	無理のない範囲で継続して行うことができそうだから。（2件）
9	すぐに出来そうな事だから。
10	自分のできる範囲内のことだから。

(3) 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

『地域包括ケアシステムの取組等』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. システムや取組の周知について（内容を知らない・わからない）	11
2. 市への意見・要望について	9
3. 地域住民とのつながりについて	1
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	5
5. 今自分がやれることがない	1
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	4
8. 取組への期待について	5
9. 守秘義務について	2
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	0
13. 医療について	0
14. その他	6

1. システムや取組の周知について（内容を知らない・わからない）（11件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	取組についてあまり知らないので市のホームページなどで紹介してほしい。
2	25～29歳	川崎市では若者も参加するシステムづくりが進められているが、何をすればいいのか、実際にどんな取組があるのか、分かりません。川崎に約2年半住んでいますが、とくに案内などありませんでした。
3	45～49歳	取組内容については共感できる面もあり、大切なことであることも理解できるので、もっと広まってくると良いと思います。ただ、私自身あまり聞いたことのない言葉と内容でしたので、もうすこし直感的にわかりやすいネーミングでより広まりやすくなってくれると良いかと。
4	50～54歳	今現在のことで必死なので先を見ることができないが、近い将来、困ってから知るのではなく今からもう少し知る努力をまずはしたいと思います。少し余裕ができたなら、自分、家族だけではなく、少し周りも見えるようになるかなと思います。
5	50～54歳	何をすれば良いか知らない。大半の市民が認知していないのでは？公平・平等な制度を望みます。
6	55～59歳	必要な人が必要な支援を受けられるよう、皆が知っているという取組が大事なのではと思います。いつ自分が家族が援助を要する時に困らない為に。特殊サギ被害に合わないよう啓蒙活動があるように自分を守る、家族を守るものは他にもあるという事を知りたいし、色々教えてほしいと思います。
7	55～59歳	地域包括ケアシステムとか社会福祉協議会とか、名前から活動内容に直結しないのでわかりやすい呼び方に変えて広報していったらどうでしょうか？
8	65～69歳	一般の人達は、市役所に行く機会も特に無く、この様な活動について、まったく知識が無いと思う。待ちの姿勢ではなく Push 型で人々にアプローチしないと、一部の人達の活動ととらえられ、多くの人の関心は向かない。まずは多くの人に興味をもってもらう取組が一番大切だと思う。(現状まったく出来ていない) ←なぜなら、情報をまったく知らない。

	年代	内容
9	75歳以上	高齢者が福祉施設や介護を受けたい時、何処へ連絡するのか（電話番号）もっとPRする必要があると思う。知らない人が多い。まずこれが第一歩だと思う。

生田出張所管内

	年代	内容
1	60～64歳	本当に内容についても何も知らない状態なので、その説明から詳しく知りたいです。
2	75歳以上	そもそも内容をあまり知らないので知るきっかけがほしい。

2. 市への意見・要望について（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29歳	若い世代に対しては、手紙ではなくオンラインで回答できるようにしてほしい。集計と回答の工数を削減できる。また、オンラインサイトが見づらく分かりにくい。
2	45～49歳	私の祖母は横浜市でお世話になっている様です。福祉に携わる方への敬意とともに、子ども世代にも福祉の仕事につなげるためには福祉に携わる方への環境がどの様なものを把握して改善をすることが先だと思います。
3	55～59歳	この意見アンケートが次につながれば嬉しいです。
4	55～59歳	住民に責任を押しつけず、行政としての責務は果たすべき。
5	55～59歳	このようなアンケートをすることによって知る、取組に興味を持つことができる等、できれば、もっと単純なアンケートからはじめていただければと思う。
6	60～64歳	知り合いの方がコロナ陽性にかかった時、知り合いが少ないのでビックリして、普段から交流がないといざという時困るので、そういう所をとりあげてほしいと思いました。コロナ陽性にかかっていながら、ご夫婦でコンビニに来店され知識を知ってませんでした！
7	60～64歳	弱者によりそえる行政を希望します。
8	70～74歳	良くわかりませんが、マインドが大きく影響してくると思うので老人の尊厳を大切にしたい、受け入れやすいシステムにして下さい。できることはやってもらい、お互いに助け合うなど・・・。合理性だけでは解決できない問題です。

生田出張所管内

	年代	内容
1	65～69歳	地域の生活弱者を切り捨てない行政と地域との接点が容易にできるような行政と地域の結び付きを希望します。

3. 地域住民とのつながりについて（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	45～49歳	祭りの再開がコロナ終息後にはじまれば、またつながりが復活すると思う。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	アクセスしやすく最新情報も得やすい包括的なプラットフォームが必要だと思います。
2	55～59 歳	広く身近に感じられる広報活動と取組具体例を挙げ、興味を引いてほしい。
3	75 歳以上	高齢者の閉じこもり防止を考えることが大切だと思います。いきいきの家の活性化、魅力あるメニューがあればよい。いきいきセンターも同様、努力していると思うが、歩いて 10～15 分位の場所で行ってみようと思う内容がいい。小学校の利用は、どうなのでしょう。検討してください。
4	75 歳以上	実証実験のようなアプローチがいいかも。

生田出張所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	あまり新聞やニュースを見ないような私達にも、もっと分かりやすく情報を流して欲しい。もう少し協力できる事もあると思う。個人的にパートを辞めたので体力と時間が少しあります。ボランティアについても、少しでも何かできればと思っています。

5. 今自分がやれることがない（1件）

生田出張所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	サービスはほしいが、あまり関わりたくない。

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案について（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	ボランティアに頼るより、専門家（知識を有する者）を雇用してほしい。
2	55～59 歳	本当に実現できれば素晴らしい取組だと思う。予算を使い切る為、道路をムリにほじくり返したりするなら、福祉にまわしてほしい。特養は数が少なく、老人の福祉のなさはひどい。1人で2人の高齢者をみて、更に仕事もフルでしているが、正直、自分の方が親より先に死ぬだろうと思っている。それだけ介護している人間は追い込まれている。誰にも頼れず、介護認定されなければ（歩いていけば要支援にしかない）その恩恵にはあずかれない現状のシステムでは未来はない。80才以上の老人がいる家には1人1人担当がつくくらいの手厚さで対応できなければ箱をつくっても意味がない。
3	60～64 歳	近くに、多摩スポーツセンターがあるが、健康づくりや交流の場にもなっているが、多様性を広げた様々な目的を持った地域活動の拠点としての場所としての利用もできれば可能性が広がると思う。利用者が少ない時は、本当に寂しい場所になっている。箱物の有意義な利用も検討して下さい。多摩スポは災害時などの緊急避難所になっていますか。

	年代	内容
4	65～69 歳	一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組とのこと。大切なことだと思います。組織として動く場合には、何かあったときの責任の所在が明確と思われますが、市民や地域という場合流動性やそれぞれの見識の違いなど心配な点もあるように感じます。コーディネートやチェック機能も求められると思います。

8. 取組への期待について（5件）

区役所管内

	年代	内容
1	18・19 歳	高齢者の取組に力を入れて欲しいです。
2	40～44 歳	自分自身、就業しているため、地域活動などに関われる時間的余裕がありません。ですが、包括のとりくみは、とても重要であると理解していますし、何らかの形で、携わることが出来ればと思っています。
3	55～59 歳	別ページにかかっている“地域・・・ケアシステム”の仕組み、取組はとても理想的で・・・知らなかったのでびっくりしました。その理想が誰しもの生活に重ね合わせることができたら本当に幸せと思います。ただ現実には、近隣に独居高齢者の方が多く離れて暮らす子どもが月1～2回訪問してくるだけ・・・あとはいつもおひとりで・・・という方もいます。インターネットが使える前で世の中が回っている今日このごろは・・・一段と人を孤立させてしまったと思います。自分にできることをしながら地域包括ケアシステムの仕組みが構築されることを期待します。
4	70～74 歳	必要と思います。
5	75 歳以上	今まで「地域包括ケアシステム」について身近に感じていませんでした。今後は関心を持って参加したり勉強したいと思っています。

9. 守秘義務について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	区役所の方が対応して下されば安心だが、ボランティア等を名乗る方は悪意ある集団だったら・・・と不安がある。個人情報の扱いにまた不安があります。口外しない、と言いつつ聞こえもれてしまうのではと。子育て世代としては子育て環境のよりよいものを求めており、老人介護はもっと上の世代で解決して欲しいのが本心です。これまでの対応のしわ寄せを受けるようで嬉しい相談とは思えず。また老人には自己主張が強い等良いイメージがありません。
2	55～59 歳	個人情報を知られたくない。

10. 相談窓口について（0件）

11. 地域防災・防犯について（0件）

12. サービスや手続きについて（0件）

13. 医療について（0件）

14. その他（6件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	子どもがほしいとは思いますが、地域の人とどんな風に交流しているのか、どう知識をえたり、情報共有しているのか、わかりません。SNS をみても色々な声があり…悩むばかりです。先輩ママさんの声をきく機会があればいいなとは思っています。
2	30～34 歳	アンケートに答えてみたものの、よくわからなかった。
3	50～54 歳	川崎市が取組はよく知りません。
4	65～69 歳	取組等の内容が良くわからないので特にありません。
5	70～74 歳	まずは自助。

生田出張所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	「ケアシステム」そのものを知らない故、意見など述べられません。

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	6
2. 市への意見	6
3. 地域住民とのつながりについて	1
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	4
5. 今自分がやれることはない	2
6. 健康について	1
7. 取組の提案について	4
8. 取組への期待について	4
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	2
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	2
13. 医療について	0
14. その他	9

1. 取組の周知について（6件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	掲示板、回覧板だけでなく、市のホームページなどに地域の情報を出した方が伝わると思います。町内会だけではなく、川崎市も家庭を訪問などをして実態を把握した方がよいと思う。町内会も高齢化や新しい人が入りにくい雰囲気があるので、川崎市が主体的に行う。外部に委託するなど誰もが地区のサービスを受けられるようにした方がよいと思う。
2	20～24 歳	もっと HP をわかりやすく、みやすく。具体的なやり方がわからないならばまずは専門のデザイナー等を頼ってとにかくもっとわかりやすいデザインにして欲しい。そうでないとそもそも見る気にもならないし、そちらもやる気がないのだと判断する。
3	50～54 歳	市や区の取組がよくわからない。
4	55～59 歳	今ひとつ魅力的に聞こえない。市民にとって心を動かされるような広報が必要。
5	55～59 歳	全く知らない。新聞折込みや、全戸に小冊子などを配布してもらえると、興味をもてるのかもしれない。テレビCMでも可。

生田出張所管内

	年代	内容
1	75歳以上	そもそも内容をあまり知らないので知るきっかけがほしい。

2. 市への意見（6件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24歳	問 18-1 でも述べましたが、「川崎市学習支援、居場所づくり事業」における活動、頻度の向上を求めます。4年ほど携わらせていただいておりますが、まだまだ改善の余地はある事業だと感じています。せめて、試験期間や高校受験前は、週3以上は必要だと思いました。何卒ご検討のほどよろしくお願ひいたします。もし、実現できないのであれば、その理由も知りたいです。
2	25～29歳	子育て世代の支援をどこより手厚くして下さい！！20-30代は共働きでも子ども2人を諦めています。1人もてるようにと思っても老後に子どもに負担かけないことを考えるため、生活水準は皆さんが考えるよりはるかに低いです。結婚するメリットもないし、減税・金銭支援をぜひ追加検討して下さい。お願いします。川崎市で住みつづけたいです。
3	35～39歳	川崎市をもっとよくして下さい。お願いします。
4	50～54歳	より良い住みやすい便利でスマートな町づくりをお願いしたいです。老人ばかりが増えて注目されるけど子どもにとっても安全で暮らしやすい町にしたいです。
5	55～59歳	駅の改札口を出てからだいたい歩かないとバスターミナルやタクシー乗り場に行けない。バス停側に改札口を作るとか、行政が運営会社に働きかけるべきと思います。住みやすい町になってこそ人も街も活性化され、いろいろな活動にも前向きになれる住民が増えると思います。
6	60～64歳	アンケートは電子媒体でお願いしたいです。

3. 地域住民とのつながりについて（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	60～64歳	住民同士の助け合いは、今の所まったくありません。住む所の居心地がよければ長く住みたいが、まず健康に気をつけ、ボケないようにと思いますが情報は常に必要だと思います。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	問 45 にも共通して言えると思いますが、これらのことがうまく機能する為には、地域の方々の協力が必要不可欠かと思えます。その為には、皆さんにわかりやすく知ってもらう為の工夫が必要ではないかと思えます。現状では興味のある人、知っている人が自ら探すことで見つけれられる情報が多い気がします。
2	55～59 歳	全ての人に関わる事なので、身体が動かなくなる高齢になる前に、家以外どのような居場所があるのか選択肢を知っておきたいし、介護で家族がだめにならないで本人も苦しめないで過ごせる方法など、早めに学びたい。

生田出張所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	こちら申し訳ございませんが、何も分かりません。でも市民、区民として私自身これから確実に老いて行くのです。その為にも助けられる自分からいつか助けてもらう自分がいると思うと他人事ではありません。その入口があれば学びたいです。
2	65～69 歳	上に書いたことと同じ。とにかく、もっと分かりやすくして欲しいです。もっと知りたいし、もっと協力したいんです。

5. 今自分がやれることはない（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	75 歳以上	家庭で要介護状態だと、地域貢献は難しい。
2	75 歳以上	色々ご苦勞様でございます。私も人のお役に立ちたいと思えますが、高齢者（91 歳）になり今では出来る限りご迷惑にならない生き方を心掛けております。

6. 健康について（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	老人の筋肉体操はすごく大事と思う。そのため場所や機会をもっとふやすべき。無料で実施することはない。有料であるべき（安価）

7. 取組の提案について（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	地域で行えることをこのアンケートを通し考えさせられましたが、隣に住む方の名前も知らず、同時に自身や家族のこと（職場、身体的特徴など）知られたくないと思う気持ちが強くあります。そうすると地域で個人間で行うより行政として、仕事として接して下さる方をお願いしたく思います。増税が必要であれば、実施して頂き、無償の労働力を求めるというのは期待できないと感じておりますし、またその人材が信頼できるのかと不安を感じます。市として、超高齢化社会に現状のままでは対応できないということがひしひしと感じるアンケートではありましたが、このアンケートに参加するまで、その事実を認識していませんでした。市民への周知を広くして頂きたく、子どもたちにどう対応すべきか教育して欲しいと思います。
2	45～49 歳	住民同士の繋がりはあると思いますが、行政が主であるべきだと思っています。一連のアンケート項目を見るに住民のボランティア頼みになっているのではないのでしょうか。高齢者が増えるのですから行政が金を出し福祉を行っていかなくては。
3	55～59 歳	名前とシステムだけ作って”はい、やりました～””川崎はこんなにやっています～”的な事はやめていただきたい。本当に困っている人にそんな事を調べる時間もなければ、お願いする時間もない。電話しても17時までとか平日のみとか電話してもつながらないとか、そんな事ばかりだ。シンプルにすぐ利用できるサービスが必要。民間ではとてもお金が高くて利用できないサービスを市でやっていただければ助かる。しかしとにかくこの地域の相談はこの人に！！のような担当制でない限り、年寄りにはスマートフォンやアプリなど利用する事はできないし、利用形態をむずかしくして利用できる範囲がせばめられてはまったく意味がない。私達が求めているのは”簡単かつ、すぐに利用できる”ということだ。むずかしいシステムにお金をかけるのではなく、むしろ電話1本ですぐかけつけます的な方がよほど助かる。とにかく介護する側もどこにも頼れず孤立している。死を考えたりする事もある。福祉からもれている人達はたくさんいる。正直、こんな計画も受け入れられる人間なんて一部の人間だろう。立派なパンフレットがきてもこのホームページとかリンクがあっても老人にはムリ。人間対人間のシステムに戻した方がよい。

生田出張所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	福祉で高齢者のためだけでなく、子どものために計画をしてほしい。生い先短い高齢者よりも未来ある子たちに時間とお金を使ってほしい（施設などに）。

8. 取組への期待について（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	アンケートを答えているうちに、地域で行われている知らない機関を知れた。また、自分にはまだ先のこと（老後のこと）と思って、親世代のことや、親の暮らす地域の事しか知らないこと、関心がないことに気づいた。地域に参加していないことにも改めて実感した。その意味では、アンケートはされる側にも有益なのかもしれないですね。アンケートがやって良かったと思えるように、住み良い町にしてほしいです。また、情報の保護もしっかりしていただけますようお願いいたします。
2	50～54 歳	都市型の地域福祉ケアサービスを他の自治体等も参考にして頂き、より良い福祉制度を希望します。
3	65～69 歳	特に、福祉の問題は、川崎市のみならず、全国共通の課題であり、日本中の市町村でうまくいっている所は何をやっており、川崎市との違いは何か？（分析しているのか？）本アンケートの内容を見ても、通り一編の事ばかりで、問題の本質はわからない。きれい事の「計画」があっても、真に効果のある実行へ移すには、真の原因をつぶさないとうまくいかない。今後の取組に期待します。
4	70～74 歳	福祉だけが市民によりそうのではなく、地域の政治そのものが市民にもっと寄り添うものになると良いです。福祉はデリケートで時間のかかるテーマです。みんなで優しく取り組めるような心のゆとりが持てるように計画をたててください。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	計画や内容、困った時にどうしたらよいのかなど、具体的に記したものを、住民皆が目にすることができるよう工夫してほしい。自分の身近で起こっている事以外に関心が向かないことも多く、私自身も子育て、介護など、自分がその状況に置かれてはじめて調べ、知ることになりました。どこに相談すれば良いかもわからない事も多く、また、何を手伝えれば良いかわからない事で手をさしのべる事を躊躇する方も多いのではと思います。簡単な事ではないと思いますが、項目ごとに、情報（の入り口）を見える化していただけると良いと思います。
2	55～59 歳	別の行政に住んでいた母の認知症に備えて家族信託を司法書士の先生に相談しながら進めていました。高齢の母は、自身が介護されるイメージが湧かないので、当初は話すら聞いてもらえませんでした。私も50代でまだ1人で何事もこなせますが急な病気、事故で要介護になるかもしれません。誰しも将来への不安はなるべく直視、考えたくないものですが、普段から知っている教育として皆が分かっていると相談しやすく（どこの窓口を頼ればよいか等）、家族内でも円滑に話を進めやすいのではと思います。その母が他界（老衰）。このアンケートが届いた頃は字に目を通すこともできず、回答が遅くなりすみませんでした。

11. 地域防犯・防災について（0件）

12. サービスや手続きについて（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	60～64 歳	90代の義父と母がいます。現在は2人とも要介護となりケア施設、デイサービスを利用して穏やかに過ごしていますが、要支援の頃はどのようによいかわかりませんでした。運動機能を維持するためのデイサービスに通いはじめるまで何も利用せず、家からほとんど出ないような生活でした。介護が必要になる時期を少しでも先にし、健康で普通の生活が可能な期間を長くするための知恵が必要だと思います。地域包括支援センターに相談しても、ケアマネさんの前ではいつも以上に元気なところを見せ、適切な支援の提案などはしてもらえませんでした。中途半端に元気なお年寄りの居場所はないのだと感じました。元気な方はサークル等で運動できる機会を自ら作ります。要介護になれば色々なサービスを利用できます。要支援は選択肢が少ない上に希望する場所に定員オーバーで入れなかったりもします。要介護に移行しないように、要支援のお年寄りにももっと目配りが必要ではないでしょうか。ウイズコロナの現代ではお年寄りばかりでなく、一人暮らしの若い方でもちょっとした買い物なども地域の人が代行してあげられるとよいですね。宅配サービスも充実してはいますが、病気になったとき今すぐ必要なものも出てくると思うので。

	年代	内容
2	75歳以上	私は要支援1なのですが同じ敷地内に娘家族が住んで居ますので二世帯住宅です。でも皆仕事にあって夜にならないと来宅しないので私はヘルパーさんに来てほしいですが、地域包括支援センターの方は家族が居るから無理と云われ介護保険をいっぱい払って居るのに不公平だなあと思う今日です。何とかありませんか。

13. 医療について（0件）

14. その他（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34歳	川崎市に引越して来て1年がすぎました。とても住みやすい町だと思っています。楽しく暮らして生きたいです。
2	55～59歳	今日、明日の事しか分かりません。計画というものが全く無いです。
3	55～59歳	その他、質問が多すぎる。
4	55～59歳	すみません。アンケート内容をちらりとみて時間がかかりそうで、遅くなり、しめきりもすぎて申し訳ありませんが提出させてもらいました。
5	60～64歳	上記『計画』を具体的に知りたいですが、現状、私は知りませんでした。資料等をどうすれば入手できますか？教えてください。
6	65～69歳	福祉計画の内容もわからないため特にありません。（3件）

生田出張所管内

	年代	内容
1	75歳以上	「福祉計画」そのものを知らない故、以下同文。

資料

アンケート調査票

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）**までにポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 祖父母 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 子 |
| 7. 孫 | 8. その他親族 | 9. いない（一人暮らし） |
| 10. その他（ | | ） |

問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 同居している65歳以上の方がいる |
| 2. 同居している要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居している障害者手帳（身体・療育・精神保健福祉）の交付を受けている方がいる |
| 4. 同居している小学校就学前の子どもがいる |
| 5. 同居している小学生の子どもがいる |
| 6. 同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる |
| 7. 家に引きこもりがちの方がいる |
| 8. いずれにも該当する家族がいない |

問8-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 同居していない65歳以上の方がいる |
| 2. 同居していない要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居していない障害者手帳（身体・療育・精神保健福祉）の交付を受けている方がいる |
| 4. 上記1～3以外で、同居していない家族の中に気に懸かる方がいる
（ ） |
| 5. いずれにも該当する家族がいない |

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市政だより | 2. 市や区のホームページ |
| 3. チラシ・パンフレット | 4. 市や区の計画での取り組みに参加した |
| 5. 団体等の会合 | 6. 交流会・ワークショップ |
| 7. シンポジウム | 8. 講演・講習会 |
| 9. 口コミ（友人・知人や近隣の方からの） | |
| 10. その他（ | ） |

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅（アパート、マンションなど）
4. 歩いて5分（およそ100m）以内程度
5. 歩いて10分（およそ200m）以内程度
6. その他（

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（○は1つだけ）

1. 家族のように親しくつきあっている
2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする
3. ときどき話をする程度
4. あいさつをする程度
5. ほとんどつきあいがいい
6. その他（ ）

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ
2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい
3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない
4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ
5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい
6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない
7. その他（ ）

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。（○は1つだけ）

1. 加入している ⇒ 問 17へ
2. 加入していたが、退会した・加入したことはない

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 行事に参加できない
2. きっかけが無い
3. 特に不便を感じない・必要性を感じない
4. 集合住宅の管理組合に加入している
5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない
6. 地域のつきあいがわずらわしい
7. 会費に見合うメリットがない
8. 加入の仕方がわからない
9. 面倒だから
10. 関心がない
11. その他（ ）

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他 ()
9. 特に何も必要だとは思わない

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している家族
2. 友人・知人
3. 離れて暮らしている家族
4. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）の職員
5. かかりつけの医療機関
6. 近所の人
7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員
8. 地域包括支援センター等専門相談機関
9. 民生委員児童委員
10. 社会福祉協議会
11. 民間の相談機関（電話相談を含む）
12. インターネット
13. その他 ()
14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない
15. 相談する人がいない

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。（○は1つだけ）

1. いる

2. いない

⇒問 23 へ

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 地域の活動団体 |
| 7. NPO等の民間団体 | 8. 区役所・市役所 |
| 9. 地域の医療機関 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 誰もいない | 13. 頼みたくない |

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特になし | ） |

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特になし | ） |

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（)

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（)

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（)
12. 特にない
13. わからない

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
2. あんしんセンター（成年後見支援センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他（ ）

【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ（運動会などを含む）に関する活動
13. 自分のスキル（能力や技能）を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他（ ）
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ()
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ()
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1~2回 | 3. 月2~3回 |
| 4. 月1回 | 5. 月1回未滿 | |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10~17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10~17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10~17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17~20時） |
| 5. 休日日中（10~17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10~17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10~17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17~20時） |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない |
| 2. きっかけがつかめない |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない |
| 5. 家族や職場の理解が得られない |
| 6. 興味を持てる活動がない |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう |
| 9. 行政や事業者が行えばよい |
| 10. 人と接するのが苦手 |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
| 12. その他（) |
| 13. 特に理由はない |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば |
| 3. きっかけがあれば |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば |
| 5. 体力や健康に自信があれば |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば |
| 7. 興味を持てる活動があれば |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（) |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない |

【保健・福祉に関することについておたずねします】

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 名前も活動内容も知っている | |
| 2. 名前を知っており、活動内容も少しは知っている | |
| 3. 名前は知っているが、活動内容は知らない | ⇒問 33 へ |
| 4. 名前も活動内容も知らない | ⇒問 33 へ |

問 32-1 あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 在宅福祉サービスの充実 | 2. 子育て支援の充実 |
| 3. ボランティア活動の促進 | 4. 各種福祉講座・教室の開催 |
| 5. 身近な相談の場としての機能強化 | 6. 住民懇談会等の小地域活動の促進 |
| 7. NPOやボランティアグループへの支援 | 8. 福祉関係団体の活動支援 |
| 9. その他（ ） | 10. 特にない |

問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 市の広報 | 2. インターネットのホームページ |
| 3. チラシ・パンフレット | 4. 新聞・テレビ |
| 5. 民生委員児童委員 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所） | |
| 8. 町内会・自治会の回覧板 | 9. 友人・知人 |
| 10. 学校 | 11. 近隣 |
| 12. 団体等の広報紙等 | 13. その他（ ） |

問 34 あなたは、ふだんパソコンや携帯電話でインターネットにアクセスしたり、メールのやりとりをどのくらいしていますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に2～3日程度 | 3. 週に1日程度 |
| 4. 月に数日程度 | 5. ほとんどない | |

【防災に対する意識と備えについておたずねします】

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（）
10. 特にない

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（）

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画 | 2. 各区地域防災計画 |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度 |
| 5. 川崎市防災マップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 7. 福祉避難所 | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト | 10. 自主防災組織 |
| 11. マイタイムライン | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない | |

問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。（○は1つだけ）

1. 見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき
2. 見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい
3. 見守りや防災・防犯のためであっても、個人情報を共有・活用しないほうがよい
4. わからない

問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|---------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | | 12. 病歴、障害の有無など |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | | 14. 介護保険の要介護度 |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | | 19. わからない |

問 40 あなたは次の情報のうち、『ふだんの見守り活動』のためだとしても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|---------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | | 12. 病歴、障害の有無など |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | | 14. 介護保険の要介護度 |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | | 19. わからない |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（多摩区版）

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

☎210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp
